

20年の足跡

ボーイスカウト群馬連盟20周年記念誌



1969

日本ボーイスカウト群馬連盟

BOY SCOUTS OF GUMMA

も く じ

結成20周年を祝って	
連 盟 長 神 田 坤 六	1
20年を省みて	
理 事 長 勝 実 道	1
この記念誌を基盤にして立派な塔を	
県コミッショナー佐 山 弥一郎	2
今後とも各位の御協力を	
事務局長 小野里 和四郎	2
20年間県連奉仕功労者	3
ボーイスカウト群馬連盟歌	4
ボーイスカウト結成まで	5
結成時の県連役員と全国の状況	6
結成時の加盟隊と結成式	7
結成迄の思い出のアルバム	8
20年の足跡	
25年度	11
26年度	15
27年度	19
28年度	21
29年度	25
30年度	29
31年度	31
32年度	33
33年度	35
34年度	37
35年度	39
36年度	41
37年度	43
38年度	45
39年度	47
40年度	49
41年度	51
42年度	53
43年度	55
昭和44年度加盟登録名簿	59
ボーイスカウト案内	77
昭和44年度県連役員	
あ と が き	

群馬連盟結成20周年を祝って



連 盟 長 神 田 坤 六

昭和24年11月、11隊、約300人で発足した群馬連盟も、20年を迎えた今日、36団、66隊、約2000人のスカウト数を数えるようになりました。心からお祝い申し上げます。

20年間は、長いようでも、すんでしまえば短かく感じられますが、結成より今日まで、事にあたられた方々の御苦勞に對しまして厚く感謝の意を表します。

将来の日本を考えますときに、青少年の教育は、ますます重要になって参ります。特に人道主義に従った国際愛の教育であるボーイスカウト運動は、世界友好の為の青少年教育として大切であると信じます。

20周年を機会に、青少年は勿論、両親たち及び一般社会のご協力を得て、この立派な運動を進展させたいものと望んでおります。

人類の幸福と世界の平和の為に、スカウトの活動をお願い申し上げます、御挨拶と致します。

20ヶ年をかえりみて



理 事 長 勝 実 道

本連盟は結成後数年間は順調に成長、5年目頃は最高調と思われましたが、其の後より衰退の色が濃くなり、8年目には財政面に於ても指導面に於ても全く危険な状態に立至りました。此の難関に処する為、昭和33年弱輩不肖をも省ず理事長に就任致し、若冠30才の名指導者桜井玉寿氏を事務局長に得て、2ヶ年の間に見事に此の難関の突破に成功、次の吉川亀吉事務局長も平穏乍ら未だ余祐もなく苦しい3ヶ年を経過の頃、小野里和四郎氏が事務局次長として局長を支援、三者にて維持財産設定に努力以来、漸く上昇の機運となり、昭和42年小野里氏が事務局長に就任と共に、本部を婦人青少年センターに設置、小野里夫人の長い間の困難な需品関係処理に加えて、常勤の事務職員を置く事になり、完全に発展の態勢に入ることが出来ました。20週年を迎へ、スカウト人口も発足以来最高の数となり、日々其の記録を更新してをりますことは事務局員と同時に、多数のコミッショナー、リーダー諸氏の血のにじむ様な、献身的指導者精神の實踐と、役員や父兄諸賢の御理解と県当局の御支援の賜物と、過去の長い間の苦しい歩みをふり返り乍ら、其の有難さに感無量、眼頭に涙を禁じ得ず、只々感謝の外はありません。富士山麓朝霧高原の明年の日本ジャンボリー、明後年の世界ジャンボリーの成功と連盟の称栄を祈念し、記念誌編集の主幹桜井御夫妻の勞に感謝しつつ発刊の辞と致します。



この記念誌を基盤にして

立派な塔を

県コミッショナー 佐山 弥一郎

県連結成20周年を記念して、そのいぶきをこの誌にまとめられたということは、またとない記念すべきことであり、またこれだけの記録が集められて後世に残されるということも、まことに意義あること、賛辞を贈ります。

あとにつづくわれわれには、得難い参考書でもあります。

今日の基盤を築いてくれた先輩各位、それにもまして蔭の力としてささえて下さった皆様にも敬意を表します。

あとにつづくわれわれは先輩の意を充分についで、この基盤の上に塔をたてること、念じています。

スカウト倍増運動も着々と実をむすんでおり、是が非でもこれを成功させたい。

この誌を編集に当って、特にお骨折り下さった方々に謝志を表すると共に、更に一般の皆様のお支援をお願いして、20周年記念誌発刊に弥栄とつけ加えてむすびます。

今后とも各位の御協力を

事務局長 小野 里和四郎

菊香る秋空の下、沼田市にて、ボーイスカウト群馬県連盟が、ここに20周年を迎える運びになりましたことを、心よりお祝い申し上げます。この良き日にあたり、事務局より皆々さま各位に、お礼の言葉を申しあげ、今後の御指導をたまわりますことをお願い申し上げます。

事務局はボーイスカウト活動について、はじめは熱意と肉体の奉仕で事足りると信じ、又行動してまいりましたが県連盟という組織の上で考えれば無一物では出来ないことだと深く感じました。

組織の拡大を強化するには、ある程度の資金も必要である、

指導者養成の講習会の開催に必要な設備用具、

野営大会の開催にともなう会議、又参加させるべく通知、連絡、野営用具-----

以上の設備もだんだん軌道にのり組織の拡大に伴い対外的行事も多くなり支出も年毎に増加している現状です。

事務局を引きたて、これまでにして下さった皆様方の今日に至るまでの御協力を深く感謝致しますと共に、今后とも関係各位の一層の御指導と御協力を願ってやみません。



20年間県連に奉仕された功労者



先達 星野 宏氏



三沢 祐長氏



栗原 博氏



村沢 信夫氏



高橋 邦一氏



勝 実道氏



桜井 玉寿氏



福田 実氏



後藤 龍堂氏



吉川 亀吉氏



20年継続登録団

沼田 第 1 団

伊勢崎 第 1 団

前橋 第 1 団

藤岡 第 1 団

桐生 第 2 団

桐生 第 7 団

伊香保 第 1 団

伊勢崎 第 6 団

群馬県連盟歌

作詩 鈴木比呂志

作曲 植村 亨



こころのなかの ふるさとは わかくさいつも もえている
はてない のぞみ少年の 夢はひろがる 世界のはてへ
あゝ ボーイスカウト ぐんまのこ

1. こころの中のふるさとは 若草いつももえている
はてないのぞみ少年の 夢はひろがる世界のはてへ
あゝ ボーイスカウト ぐんまのこ
2. こころの中の星空は 銀河が白く光つてる
友愛の花さくところ 奉仕の汗も楽しくかおる
あゝ ボーイスカウト ぐんまのこ
3. こころの中の湖は きよらなひとみ映してる
胸にのばらと太陽を いつもかざろう若者われら
あゝ ボーイスカウト ぐんまのこ

ボーイスカウト結成まで

ボーイスカウト日本連盟

沿 革

大正11年 4月13日 (1921年)	少年団日本連盟設立
大正13年 8月20日 (1923年)	ボーイスカウト国際事務局登録(継承)
昭和10年 7月1日 (1935年)	財団法人(大日本少年団連盟)認可
昭和16年 5月31日 (1941年)	大日本青少年団に統合を命ぜられ解散(財団法人健志会に改組)
昭和21年12月4日 (1946年)	ボーイスカウト運動再建承認(総司令部民間情報教育局)
昭和22年 5月1日 (1947年)	ボーイスカウト日本連盟設置
昭和24年 6月12日 (1949年)	財団法人(健志会を再改組)認可
昭和25年 6月30日 (1950年)	ボーイスカウト国際事務局再登録

ボーイスカウト群馬県連盟

結 成 経 過

昭和23年 7月13日 ～16日	B S指導者公認講習会 於一ノ宮公民館 主任講師 今井襄二氏 受講者48名 リーダースクラブ結成
昭和24年 2月24日 ～26日	B S指導者公認講習会 於一ノ宮公民館 主任講師 関 忠志氏 尾崎忠次氏 受講者24名
昭和24年 6月15日 ～20日	第1回中央特修実習所え 小井戸哲夫氏入所
昭和24年 7月1日	利根第1隊登録 33名

昭和24年 7月9日	伊勢崎第1隊登録 25名
昭和24年 7月29日	県連結成準備委員会 於前橋商工クラブ 委員長 藤井 勲氏 副委員長 栗原 博氏 小井戸哲夫氏
昭和24年 8月19日 ～21日	合同野営 於岩鼻 145名参加 利根1-22名 前橋1-24名 前橋2-4名 伊勢崎1-6名 佐波1-8名 佐波2-7名 太田1-53名 北甘楽-3名 館林-15名
昭和24年 8月25日	太田第1隊登録 50名
昭和24年 8月31日	前橋第2隊登録 19名
昭和24年 9月12日	佐波第1隊登録 23名
昭和24年 9月15日	佐波第2隊登録 12名
昭和24年 9月18日	利根第2隊登録 10名
昭和24年 9月20日	前橋第3隊登録 26名
昭和24年 9月21日	高崎第1隊登録 20名
昭和24年 9月24日 ～25日	第1回ボーイスカウト全国大会 於皇居前広場 日比谷公園
昭和24年10月9日	勢多第1隊登録 13名 各隊代表者集会 総会規約審議決定
昭和24年10月16日	理事選出 監事選出 理事会 事務局組織決定 名誉顧問 顧問決定
昭和24年10月29日	理事会 結成式についての打合せ
昭和24年11月3日	理事会 結成式についての打合せ
昭和24年11月6日	日本ボーイスカウト群馬県連盟結成式 於前橋公園 三島理事長御臨席

結成に奉仕された県連役員

理事長	藤井 勲	(前橋)
副理事長	星野 宏	(利根)
〃	小倉 国吉	(伊勢崎)
理事	ロック・カルパンチエ	(前橋)
〃	須藤 範二	(利根)
〃	武内 正隆	(太田)
〃	立川 浩三	(前橋)
〃	栗原 博	(伊勢崎)
〃	篠田 義祐	(前橋)
〃	高橋 喜代次	(勢多)
〃	根岸 金次郎	(佐波)
〃	松本 宗蔵	(佐波)
〃	佐藤 熊三	(高崎)
〃	三沢 祐長	(北甘楽)
監事	巷野 英太郎	(太田)
〃	角田 儀平治	(前橋)
事務局		
事務局長	小井戸 哲夫	(前橋)
指導主事	栗原 博	(伊勢崎)
〃	北條 富司	(太田)
〃	須藤 範二	(利根)
〃	桜井 正	(高崎)
〃	村沢 信夫	(利根)
〃	八巻 信生	(前橋)
〃	橋本 坦	(前橋)
主事	金築 栄	(前橋)
名誉顧問	群馬県知事	
顧問	県会議長 教育委員会委員長 教 育長 警察隊長 上毛新聞社長	

宮城	11	23	252	7
秋田	2	2	50	1
山形	8	20	89	2
福島	12	28	288	3
茨城	3	3	84	6
栃木	13	43	237	14
群馬	11	20	132	5
埼玉	12	32	319	11
千葉	12	39	300	0
東京	19	39	347	17
神奈川	13	22	241	4
新潟	17	56	334	25
富山	10	22	187	10
石川	15	54	344	17
福井	3	4	59	1
長野	14	26	246	10
岐阜	15	25	260	16
静岡	12	16	124	8
愛知	18	43	292	8
三重	13	21	362	2
滋賀	15	33	255	20
京都	12	30	251	3
大阪	13	47	236	23
兵庫	7	12	84	6
奈良	6	10	106	1
和歌山	1	1	22	0
鳥取	12	22	217	25
島根	4	8	65	10
岡山	8	16	152	7
広島	23	34	390	10
静岡	12	16	124	8
山口	30	50	659	8
徳島	1	1	13	0
香川	6	7	137	4
愛媛	6	11	153	8
福岡	51	81	1.161	24
佐賀	11	12	208	3
長崎	6	16	118	8
熊本	16	27	361	7
大分	4	14	93	0
鹿児島	0	0	0	1
合計	524	1.092	10.453	355

県連結成時の全国の状況

昭和24年12月10現在

(都道府県)	(隊数)	(隊付指導者数)	(スカウト数)	(指導者有資格者数)
北海道	47	101	1.105	15
岩手	12	21	122	5

加盟登録隊一覧表

昭和24年11月6日現在

郡市名	隊 号	承認年月日	隊本部所在地	育成会長	隊委員長	隊 長	指導者数	隊員数
利根郡	第1隊	24. 7. 16	利根郡沼田町 663 星野方	星野 宏	石塚 誠	村沢 信夫	3	48
伊勢崎市	第1隊	24. 8. 3	伊勢崎市住吉 町1 栗原方	小倉 国吉	小倉 国吉	栗原 博	3	25
前橋市	第1隊	24. 8. 3	前橋市南曲輪町 カトリック教会	ロック カルパンチェ	小井戸哲夫	金築 栄	3	26
太田市	第1隊	24. 10. 1	太田市台之郷 北條方	武内 正隆	武内 正隆	北條 富司	1	50
前橋市	第2隊	24. 9. 7	前橋市西岩神 堀方	堀 秀一郎	篠田 義祐	根岸 晃	1	19
佐波郡	第1隊	24. 10. 1	佐波郡東村 国定 諏訪方	細野 文七	細野 文七	鈴木 行雄	1	23
佐波郡	第2隊	24. 9. 19	佐波郡豊受村 上蓮沼植月方	斉藤 秀男	細谷 勇	植月 重佐	1	12
利根郡	第2隊	24. 9. 19	利根郡水上町	石坂 俊司	石坂 俊司	谷川孝五郎	1	16
前橋市	第3隊	24. 10. 1	前橋市田中町 公民会館	立川 浩三	赤澤 孝平	今井 甫	2	26
高崎市	第1隊	24. 10. 1	高崎市宮元町 45 佐藤方	高橋 邦一	佐藤 熊三	桜井 正	2	20
勢多郡	第1隊	24. 10. 14	勢多郡桂萱村 大字堤高橋方	高橋喜代次	江原 栄八	大島 文作	1	13

計 19 278

群馬県連盟結成式

1. 日時 昭和24年11月6日(日曜日)
 - 午前9時30分集合 午前10時開式
2. 会場 前橋市曲輪町
 - 前橋公園ラジオ塔前
3. 式次第
 - (1) 開式のことば 小倉副理事長
 - (2) 国旗掲揚 全員敬礼
 - (3) 〃備えよ常に〃
 - (4) ちかい } スカウトの発唱
 - (5) おきて } 全員つづく
 - (6) 結成経過報告 事務局長
 - (7) 理事長挨拶
 - (8) 日連理事長告辞 三島通陽理事長
 - (9) 来賓祝辞 東京軍事裁判所長官スチア
ート中佐
群馬民事部長代理ホールネ
ック氏
教育委員長、教育長、前橋
市長、ガールスカウト代表
社会教育協会会長
 - (10) 隊員代表のことば 前橋第一隊 桜井
康雄
 - (11) 〃ジャンボリー〃
 - (12) 弥栄三唱
 - (13) 国旗降納
 - (14) 閉式のことば 星野副理事長
4. 市中行進
5. 解散
 - 1. 〃光の路〃
 - 2. スカウトサイン (私はよいスカウト
になります)
3. 解散(昼食)

昭和24年11月26日 第3回公認指導者講習会
 ~29日 太田市金山
 主任講師 尾崎忠次氏
 藤井 勲氏
 受講者45名

第1回指導者公認講習会

昭和23. 7. 13~16
一ノ宮公民館



第2回指導者公認講習会

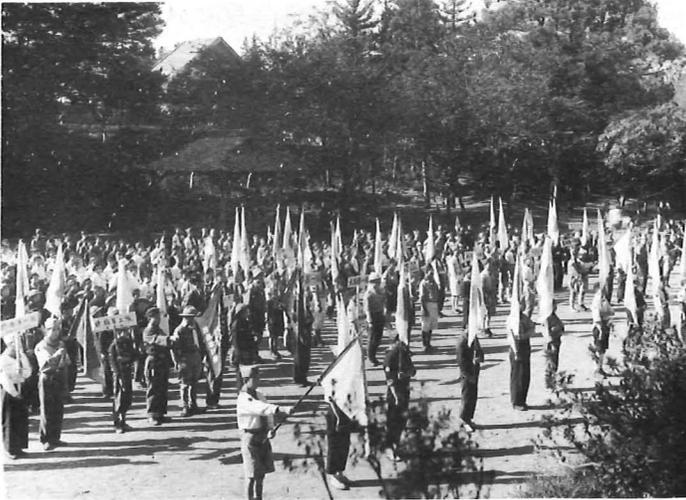
昭和24. 2. 24~26
一ノ宮公民館



第1回合同野営

昭和24. 8. 19~21
岩鼻





栄えある県連結成の佳き日

昭和24.11.6

於 前橋公園

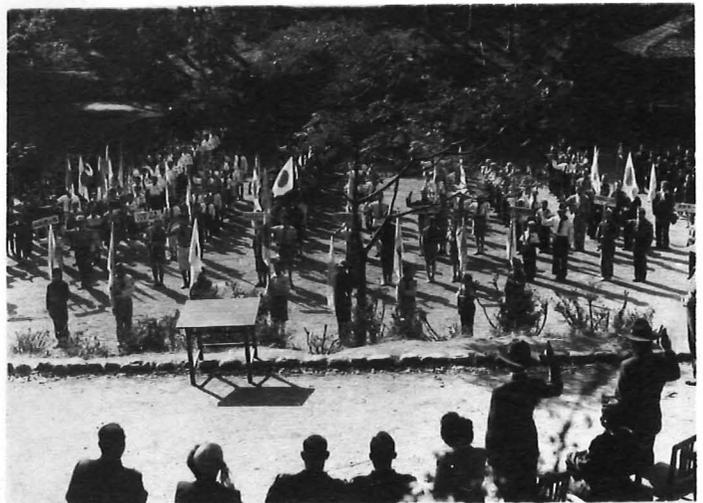
弥栄を誓う

若人の集い



初代事務局長

小井戸哲夫氏



県連を育てた諸先生

結成の日

群馬会館前にて



第1回全国大会に参加して



佐波第2隊

桜井玉寿

戦后初の全国大会は24年9月24・25日東京宮城前広場で開会されることになった。

連絡を受けた私達はスカウトを集め毎朝1週間にわたり猛訓練を続けた。服装とて何もない、ワイシャツに布に書いた郡市別票や県名票を縫い付け、まがりなりにもスカウトらしき形を整え、学校の大天幕を借用して出発しました。東京駅に着くと各地から集まったスカウトに会う。誰からとわなしに伝わってくる話しに、
「日の丸を展げてよいそうだ、
「三本指の敬礼が今度許されたよ」との事、
私達はこの時丸めてあった日の丸を展げ、スカウトサインでなしに仲間に始めて敬礼をしました。

24日 午後2時日比谷公園に天皇、皇后両陛下、皇太子、義宮両殿下をお迎えして開会式が行なわれました。陛下がお着きになると、誰も指揮をとったわけではないが、自然に感激の万歳が公園にこだましました。アメリカ・ボーイスカウト連盟から紺地に金色のスカウト章を浮き出した日本連盟旗が三島理事長に贈られると一斉に喜びの拍手が響きました。続いてスカウト技能の発表、湯わかしゲーム、やぐら立てゲーム等一生懸命に競い合い陛下に御覧戴きました。陛下がお帰りの時も車が見えなくなるまで私達は万歳の声もますます高らかにお送り申し上げたのでした。

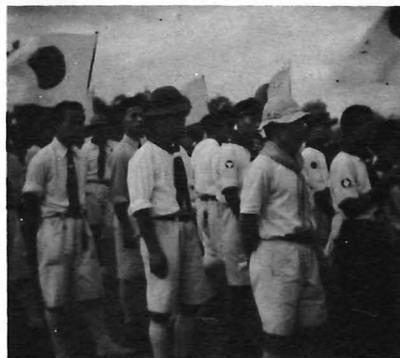
夜は三笠宮、同妃殿下が御臨席になり大営火が行なわれました。「ちよっとごめんなさい」と云われて私達を分けて入ってこられた方が後で殿下、妃殿下と解り恐縮致しました。

いかに大きいとはいえ一つの天幕に23人、リーダーは天幕から身体半分を出して寝たことを記憶している。炊事にしろ、天幕の立て方にしてもあの頃は五里霧中であつた。

25日 午前10時から日連旗を先頭に有楽町—新橋—銀座—日本橋—宮城前をパレード、それぞれ10隊10色の服装で、早く揃った正服がほしいと思ひました。帰りに戦后始めて森永キャラメルを戴き、希望者に味の素を売ってくれたので土産物が出来た思い出があります。



東京駅につく



開会式をまつ



天皇御一家を迎えて

第3回指導者公認講習会

昭和24.11.26~29
太田市金山



永井指導主事を迎えて

昭和25.4.29



第4回指導者公認講習会

昭和25.5.4~7
沼田町



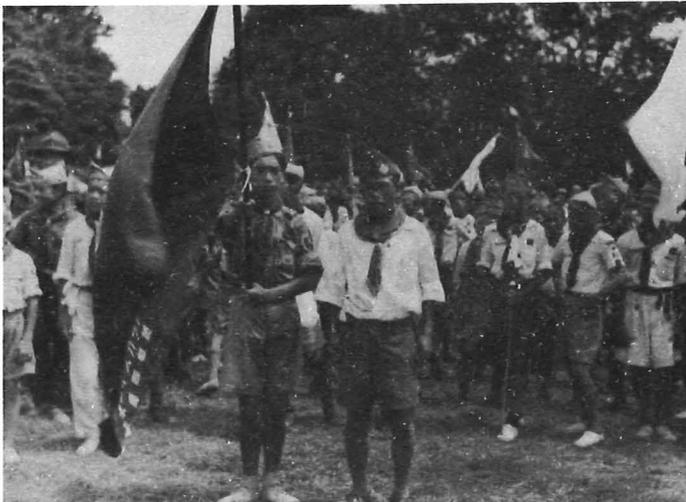


第2回全群馬
ボーイスカウト大会

昭和25. 8. 3~5
沼田町久米公園

開会式

やぐらを組み
手旗交信



第2回全国大会

昭和25. 8. 18~20
東京新宿御苑

開会式を待つ

群馬のスカウト

厚生大臣を
食卓に迎えて

三島理事長 古田先生
根岸先生の顔も見える
新宿御苑にて



第5回指導者公認講習会

昭和25. 10. 27~30

一ノ宮公民館

県連結成一周年記念大会

昭和25. 11. 5

高崎市



26年度

主な行事

- 4月1日 一級進級考査
前橋市前代田 前橋市立第1中学校 受講者68名
- 5月3日 第6回BS指導者養成会
～6日 甘楽郡一の宮公民館
主任講師 今井襄二 受講者35名
- 5月20日 役員会 日連規約改正にともない
新しい県連組織について
世界ジャンボリー及び英国派遣隊
隊員詮衡会 詮衡の結果20名中より次の5名を日連に推薦
巷野安司 太田第1隊
日高忠義 前橋第3隊
星野元重 佐波第1隊
奥田佳久 太田第4隊
橋本光彦 北群馬第1隊
- 6月28日 全国優秀スカウト特別訓練
～30日 富士山中湖畔野営場
全国百数十名のスカウトの中から13名を選び特別訓練が行われました。本県より 巷野安司、日高忠義、星野元重の3名が選ばれ参加
- 7月13日 一級進級考査 前橋市・事務局
15日 〃 太田市
22日 〃 沼田町・星野方
- 7月22日 第2回隊長講習会
26日 沼田町沼田公園下 12名参加
- 7月30日 第三回全群馬ボーイスカウト大会
～ 伊勢崎市華蔵寺公園
- 8月1日 展示会・技能発表会 参加 650名
- 8月4日 第3回日本ボーイスカウト野営訓
～8日 練全国大会
山形県蔵王山麓鳴の谷
全国 7,500名 本県参加 220名
- 9月15日 第7回BS指導者養成会
～16日 山田郡大間々町教育会館
22日 主任講師 小井戸哲夫
～23日 受講者37名

- 11月4日 県連結成2周年記念大会
群馬連盟長推戴式 連盟長伊能芳雄知事
太田市東山球場
- 11月16日 第8回BS指導者養成会
～18日 利根郡加葉山 主任講師 星野宏
受講者29名
- 昭和27年
- 1月25日 第9回BS指導者養成会
～27日 高崎市観音山 主任講師 星野宏
受講生26名
- 3月1日 第1回ソング研究会 伊香保
～2日 主任 桜井玉寿 受講者36名
- 3月16日 県連総会
群馬会館三階会議室
日連諸規定改正に伴って、県連組織をどうするか。

3月16日行なわれた総会で次の事が決定した。

◎県連組織について

新しい組織の切換えが行なわれるまで現任役員がつとめる。但し理事数の少ない地区から補充する。
邑楽一名 高崎一名 北群馬一名 利根一名 吾妻一名

◎指導面について

県コミッショナー 星野 宏
副 〃 三沢 祐長
全 小井戸 哲夫
第一地区(邑楽・新田・太田)
コミッショナー 北条 富司
副 〃 吉野 常夫
全 森田 由雄
第二地区(伊勢崎・桐生・佐波・山田)
コミッショナー 後藤 龍堂
副 〃 栗原 博
全 桜井 玉寿
全 諏訪 正男
全 吉川 亀吉
第三地区(前橋)
コミッショナー 小井戸 哲夫
副 〃 剣持 平三郎

第四地区（高崎・多野・甘楽）

コミッショナー 三 沢 祐 長
 副 ッ 桜 井 正
 全 土 屋 喜 英

第五地区（北群馬）

コミッショナー 星 野 宏
 副 ッ 池 田 正 夫

第六地区（利根・吾妻）

コミッショナー 村 沢 信 夫
 副 ッ 片 野 悦 五 郎
 全 須 藤 範 二

◎事務局移転承認

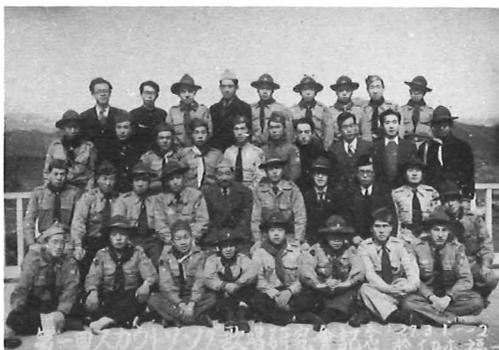
前橋市曲輪町群馬会館内

雇員 塩野栄一君（一級スカウト）

◎行事計画の承認

第1回ソング研究会

昭和27. 3. 1~2 伊香保



第2回隊長講習会

昭和26. 7. 22~26 沼田

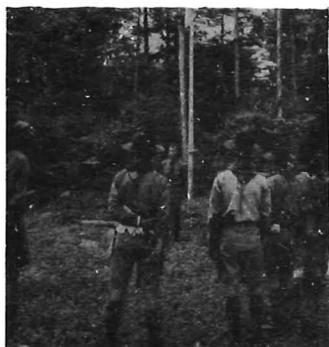


加盟登録

隊 数	50
隊 委 員	250
リーダ一	105
スカウト	1.081
計	1.436

全国優秀スカウト特別訓練

昭和26. 6. 28~30 山中



昭和26. 5. 3~6

第6回指導者養成会

一ノ宮公民館



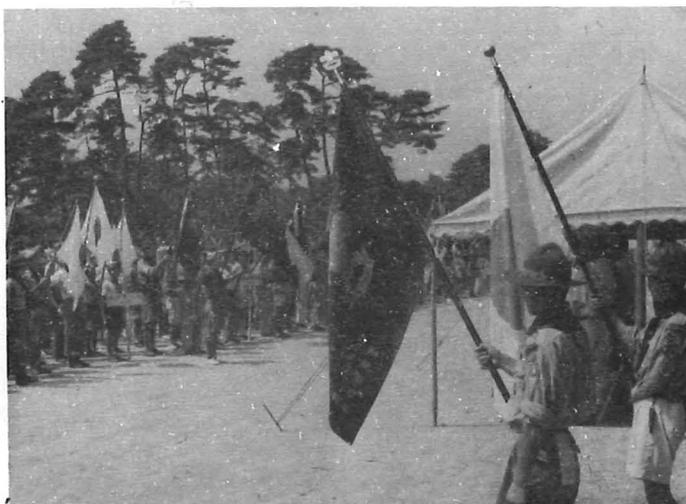
第3回全群馬

ボーイスカウト大会

昭和26.7.30~8.1

伊勢崎

全員集合



大会に集う指導者

記念スタンプ

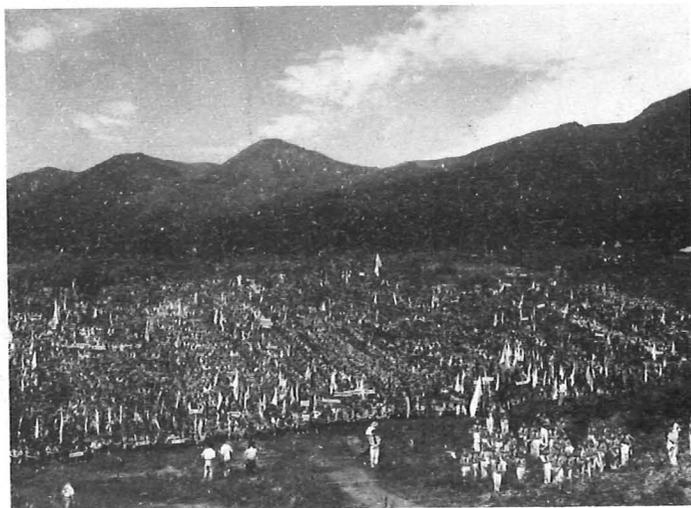


第3回全国大会

昭和26.8.4~8

山形県蔵王

まもなく開会式



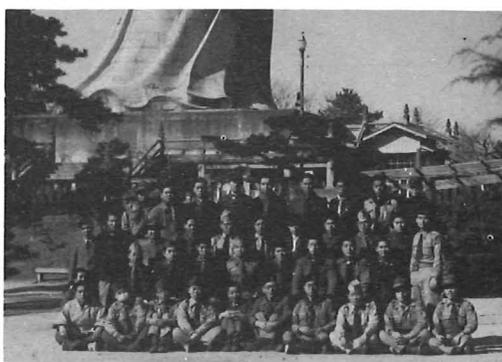
第7回指導者養成会

昭和26. 9. 15. 16~22. 23 大間々



第9回指導者養成会

昭和27. 1. 25~27 観音山



県連結成2周年記念大会

太田東山球場に集う 昭和26. 11. 4



第8回指導者養成会

昭和26. 11. 16~18

利根迦葉山



27年度

主な行事

- 4月1日 県連事務局移る
前橋市曲輪町群馬会館内（正面玄関入って左階段下）
雇員 塩野栄一君
坪数 二坪六合七勺
賃貸料 1ヶ月に付 67円
- 4月9日 B S北関東地区協議会
高崎市役所
- 5月3日 高崎子ども博協力ジャンボリー
～5日 高崎 片岡小学校・観音山
参加者 500名
- 5月23日 第3回隊長講習会
～26日 高崎市観音山スカウト館
- 6月27日 第10回B S指導者養成会
～30日 （第1回カブ補講を含む）
受講者25名
- 7月1日 県連維持会員募集開始
- 8月5日 第4回全群馬ボーイスカウト野営
～11日 訓練大会
北群馬郡榛名湖畔
- 8月20日 優秀スカウト特別訓練
～26日 山中野営場
本県参加者 阿部 等 利根1隊
阿部憲二 利根13隊
市川節夫 甘楽1隊
- 8月22日 第11回B S指導者講習会
～25日 （第2回カブ補講含む）
利根郡沼田町 主任講師星野宏
受講者12名
- 10月31日 第12回B S指導者養成会
～ （第三回カブ補講含む）
- 11月3日 吾妻郡孀恋村鹿沢温泉
- 11月9日 県連総会
（県連結成三週年記念式）
高崎市南小学校

昭和27年11月9日より奉仕された

県連役員

連盟長	北野重雄
副連盟長	河野孝
全	小島軍蔵
理事長	河野孝
副理事長	角田儀平治
全	小井戸哲夫
県コミッショナー	星野宏
指導者養成委員長	三沢祐長
野営行事委員長	村沢信夫
進歩委員長	勝実道
健康安全委員長	桜井行美
財政委員長	細谷浅松
組織拡張委員長	上田由一
学識経験者理事	武内正隆
全	丸岡興舜
全	小野塚静二
全	田島暎
第一地区委員長	高木良三
第二	久保田茂一郎
第三	藤枝泉介
第四	高橋邦一
第五	柳沢千太
第六	鈴木武雄
監事	百瀬玉雄
全	高橋一三
事務局長	星野宏
事務局職員	塩野栄一
県副コミッショナー	小井戸哲夫
全	三沢祐長
名誉会議員	茜ヶ久保重光
全	増田彦七
全	小倉国吉
全	栗原博
全	巷野英太郎
第一地区コミ	北条富司
〃 小地区コミ	森田由雄
〃 〃	吉野常雄
第二地区コミ	後藤龍堂
〃 小地区コミ	栗原博
〃 〃	吉川亀吉

〃 〃	桜井玉寿
〃 〃	諏訪正男
第三地区コミ	小井戸哲夫
第四地区コミ	三沢祐長
〃 小地区コミ	桜井正英
〃 〃	土屋喜英
〃 〃	佐藤茂
〃 〃	橋爪和夫
〃 〃	春山武
第五地区コミ	池田正夫
〃 小地区コミ	黒岩武一
第六地区コミ	村沢信夫
〃 小地区コミ	片野悦五郎
〃 〃	霜垣哲治

(日連規約改正により選出された)

加盟登録

隊数	58
隊委員	290
リーダー	129
スカウト	1,189

計 1,608



優秀スカウト特別訓練に 参加して

市川節夫

群馬・甘楽第1隊

山中の野営場は整然とし、原始林に囲まれた中に威厳を保っていた。こゝに自分達の生活が始ったのである。

スカウトの正しい野営生活は、一刻をも無駄にしない。それで病気一つする閑もない。そして毎日限りなく改善と進歩が続く、次々と新しいプログラムがなされ、絶間ない変化と課題に喜々として隊活動をしたので、いつの間にか野営訓練の日がなくなってしまった。また、その訓練の指示がすべてモールズで報されたことも思出ふかいものであった。

第10回指導者養成会

一ノ宮



第4回全群馬BS野営訓練大会



第11回指導者養成会

沼田



第12回指導者養成会

新鹿沢



28年度

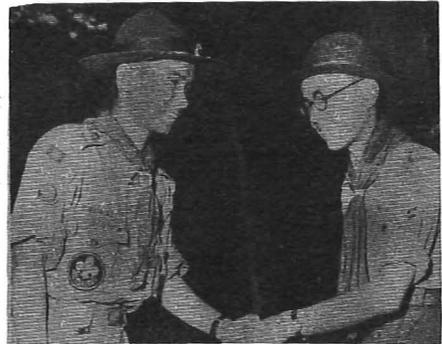
主な行事

- 4月3日 第13回B S指導者養成会
 ～6日 高崎市上野神社
 主任講師三沢祐長 受講者25名
- 8月1日 第14回B S指導者養成会
 ～4日 (カブ補講含む)
 利根郡沼田町記念館
 主任講師星野宏 受講者15名
- 8月3日 第四回C S補講講習会
 ～4日 B Sと同会場 受講者12名
- 8月6日 第5回全群馬B S関東招待野営大
 ～10日 会 三笠宮殿下、北野連盟長出席
 吾妻郡嬭恋村新鹿沢温泉附近
 参加 県下スカウト 800名
 埼玉・茨城・東京・山梨
 400名 計1,200名
- 8月13日 北関東第1回地方指導者研修所
 ～19日 吾妻郡嬭恋村新鹿沢
 所長 古田誠一郎 研修者8名
- 8月17日 1953年度名誉スカウト特別訓練
 ～23日 東京都葺手町田中山～山中野営場
 参加者 井下尚重 伊勢崎第2隊
 塩沢良二 邑 楽第3隊
- 9月10日 第15回B S指導者養成会
 ～13日 (カブ補講含む)
 新田郡強戸村長生館
 主任講師星野宏 受講者12名
- 11月8日 県連結成四周年記念大会
 桐生市新川グランド
 参加者 745名
- 昭和29年
- 1月9日 役員・リーダー新年会
 ～10日 伊香保福一旅館
- 2月17日 第16回B S指導者養成会
 ～19日 甘楽郡一の宮公民館
 主任講師三沢祐長 受講者26名
- 3月 第1回フイリッピン全国ジャンボ
 リー参加スカウト並びに指導者と
 して次の三君が選ばれる。

スカウト 石島徹哉 桐生2隊
 指導者 桜井 正 地区コミ
 ッ 塩野栄一 事務局員
 (この計画は、浅念ながら日本の
 外貨の関係で中止された)

加盟登録

隊 数	59
隊 委 員	295
リーダー	134
スカウト	1,282
計	1,711



名誉スカウト特別訓練に参加して

井 下 尚 重

群馬・伊勢崎第2隊

開式前から、此の訓練は、固苦しいような気がして、どうも心が落ちつかなかった。班員の人達を見ると、全部僕より大きい人ばかりで、話をするにも少し、しづらかったし、僕自身子供の様な気になってしまうことが多かった。しかし僕は、自分の全力を盡して事をしたつもりだ。人から見れば、どうかは分らない。けれど僕は兄さん達と共に一生懸命訓練を受けた。訓練中特に面白かったのは、都内ハイクやザイルさばきだった。僕は、これ等を始めて訓練されたのだ。

訓練終了後、中国童子軍の人達と共に、山中野営場へ行った。二日目の昼前、野営場内を全部案内してもらった。ジャングルの様に木は茂り、つるは垂れている。この森の中に、キャンプしたら何如に楽しいことだろう。

破壊でなく建設です

第5回全群馬ボーイスカウト
関東招待野営大会に参加して
佐波第4隊ナイチンゲール班
班長 桜井 恵 寿

昭和28年8月6日より4泊5日にわたる第5回全群馬ボーイスカウト関東招待野営大会は、群馬を始め、埼玉、茨城、山梨、東京と約1200名のスカウトが参加して群馬県吾妻郡嬭恋村新鹿沢附近で開催され、大会第4日には三笠宮様の御出席を戴き、午後4時より親しくスカウトの野営場を視察せられ、夕には8時30分より大営火に御出席、終りまでスカウト達の演技を終始手を叩かれ、興味深げに御覧になられました。尚第5日(10日)最終日には閉会式に御参列になられ、親しくスカウトに御言葉を賜りました。次に御言葉の要旨をのせます。

御 言 葉

私が、この野営地に到着して、先づ感じた事を卒直に申し上げますと、これは軍隊と云う感じがしました。何故ならば、天幕生活をし、同じ制服を着け、しかも敬礼もにてをる。

私は諸君の様な時から軍隊の教育をうけ、戦地にてテント生活をしてをるので、軍隊の良い点、悪い点は充分承知をしてをります。軍隊の仕事は破壊です。朝から晩まで人を殺す訓練をしました。

然し、其の後、君達の行動、訓練を見ているうちに、最初感じた事と異った面を発見しました。表面は非常に軍隊ににているが、内容がぜんぜんちがってをります。

君達の行動は建設であり、ボーイスカウトの訓練は朝から晩まで人を助ける為の訓練であった。今の日本に必要なものは破壊でわけません、建設です。スカウトの皆さんどうか、立派な日本を作る為に励んで下さい。そして立派なスカウトになって下さい。

スカウトは一斉にサインをして、良いスカウトになる事を誓った。最後に全員で宮様の弥栄をととなえ、御送り申し上げます。

(現伊勢崎第6団年長隊々長)

三笠宮様を迎えて



開 会 式



記念スタンプ



第13回指導者養成会

昭和28. 4. 3~6

高崎上野神社



北関東第1回
指導者研修所

昭和28. 8. 13~19

嬬恋村新鹿沢

出来上った

モンキーブリッジ



第15回指導者養成会

昭和28. 9. 10~13
新田郡強戸村長生館



県連結成4周年
記念大会

昭和28. 11. 8
桐生新川グランド



第16回指導者養成会

昭和29. 2. 17~19
一ノ宮公民館



29年度

主な行事

- 5月9日 理事会・コミッショナー会議
群馬会館三階第二会議室
- 6月8日 教育長 黒沢得男氏 副連盟長に
- 6月27日 1954年度日本名誉スカウト選抜訓練
前橋市曲輪町公園（元野球場）
坂下剛男、中 作治 選抜
共に多野第1隊中学3年生
- 8月6日 第6回群馬B S野営訓練大会
～11日 赤城山大沼湖畔県営スキー場
- 8月9日 第17回B S指導者養成会
～11日 赤城山大沼湖畔県営スキー場
- 10月15日 第18回B S指導者養成会
～17日 桐生市相生薬王寺
主任講師 後藤龍堂 受講者9名
- 10月31日 県連結成五周年記念大会
前橋市城南小学校々庭
式後 グランド・フェアー見学
参加 42隊 860名
- 昭和30年
- 1月7日 関東地区第一回連絡協議会
～8日 伊香保町福一旅館
- 1月8日 県連総会及び新年会
～9日 伊香保町福一旅館
規約改正、役員改選 その他



昭和30年1月8日新連盟役員が決定した。その任期は昭和32年3月31日迄である。

連盟長 北野重雄
副連盟長 黒沢得雄
全 久保田 茂一郎
理事長 星野 宏
副理事長 武内正隆
全 高橋 邦一
県コミッショナー 三沢 祐長

学識理事	鈴木 武雄
〃	持丸 理喜男
〃	勝 実道
〃	正田 豊作
〃	横内 甲子吉
監事	小野塚 静二
〃	佐川 一衛
県副コミッショナー	村沢 信夫
〃	桜井 玉寿
名誉会議員	丸岡 興舜
〃	増田 彦七
〃	植松 勝次
〃	小井戸 哲夫
事務局長	後藤 龍堂
局長	平沢 進
第1地区委員長	
2〃	岡田 徳次郎
3〃	大島 宗作
4〃	栗原 博
5〃	藤枝 泉介
6〃	萩野 今朝造
7〃	
8〃	滝沢 伸次
9〃	工藤 友吉
10〃	
11〃	土屋 長男
12〃	根岸 貞男
連盟顧問	伊能 芳雄
〃	篠原 秀吉
〃	河野 孝

加盟登録

隊数	46
隊委員	230
リーダー	135
スカウト	842

計 1.207

1954年度

名誉スカウト特別訓練に参加して

(感想集より)

藤岡第1隊

中 作 治

長い一週間もありがとうございました。

私は家に帰って「お前の態度がよくなった」と、父や隊長が、そう云ってくれるので、私はうれしくてなりません。

それはみな、名誉スカウト訓練のおかげです。今後もよろしくご指導下さい。

私はきっと、よいスカウトになります。

藤岡第1隊

坂 下 剛 男

私はボーイスカウトの一隊員として、この名誉ある集いに来た。

曇明まだ太陽の昇らぬ始めての朝を迎え、雑木林の中に、キャンプサイトを離れ、自然観察を思い立った。

夜が明けきらないので足許のおぼつかないのは禁じ得ない。富士の裾野は原始林に始まり都会に終ると、郷土を出発する時言われたが、その形様は誤りではないと思った。

なぜなら山中湖周辺は、あまりにも造形がはいりこみ、造物主が生み出した自然は崩壊されていたからであった。

朝露にぬれる草を踏みわけながら斜面を登る私の周辺には、立枯れた落葉松の破片や蒿のくさった残骸が、いかにもこのキャンプ地を形造るかのようなジャングルであった。

何らの誇張も粉飾もないこの自然を無上の友として行うキャンピングは、人間の不満、不安、焦燥のはげ口であり、また自然に帰る心の湧き出ずる泉でもある。

一本の立木を切るにしても木に対する愛着は増し、山は美しく自然はあくまでも清く澄み、後に来る人にも多大な自然の夢を与えなければならない。

私はこゝに立って現在までたどってきた私達のスカウティングを通し、この訓練の中に見い出せる確信は、昨日からの設営において感ずるのであった。又この集いに来た全国からの名誉スカウト達も私と同じような考えのもとにこの訓練を実施するであろうことを確信するのであった。

第6回野営訓練大会報告

事務局員 塩 野 栄 一

8月6日……朝9時30分前橋駅集合、東武バス貸切で赤城一杯清水まで、それより徒歩にて3キロ。野営地の準備を終って、スカウト門も見事に、コミッショナーに出迎えられる。3時開会式、設営に必要な薪や樹木は道路開たく許可により大森林から大いに利用。夜は各隊交歓、リーダー集會、明日からの訓練の人員配置を行う。

8月8日……朝礼の後直ちに訓練に入る。初級、二級、技能章、ソングと、毎年続けている訓練大会の方法は鮮かなもの。これが各隊の進歩にいかに影響しているかは云うまでもない。朝礼に閉会式に、多くのスカウトが進級の喜びを家へのみやげとし、またどんなに毎日のスカウティングに生かすことか、リーダーは喜びでいっぱいになるのである。各隊は時間の都合をみて大沼湖へボートや水泳、また登山に、山はスカウトの天国であった。

8日の夜は大営火。赤城の湖畔にほのぼのと赤い営火をかこみ、上州名物“八木節、からかさ踊”をはじめ、本部の“川中島合戦”の一コマ、さては高崎7、10隊の“国定忠治”、特別参加の土浦第3隊の“カンジン帳”と、それぞれ盛り沢山なファイア劇に時のたつのも忘れ、一夜の名残りを措しんだ。

8月9日……初級、二級スカウトは帰途に向う。日やけたその笑顔に本部のものはホッとした。10時、初級、二級の閉式及び進級式、終って名残りを惜しみつつ下山して行った。

いよいよ一級以上のきびしい訓練が初まった。赤城第1隊と称して結成された一級以上のスカウトは、指導者としての資格をと意気こんだ。スカウト精神、指導者精神、野外生活と、次々の講義に実習に、息をつくひまもなく頑ばるスカウトたちは、きっと未来の優秀なリーダーとなることであろう。

8月10日、11日……ハイキング。1,700米の地蔵嶽よる見下ろす風景はスカウトの心を打った。夜は楽しい営火。11日は解隊式、撤営、最後の点検。事故もなく5泊6日の野営地に感謝をもって弥栄を祈る。3時本部一同下山。来年の第7回大会への期待に胸をふくらませながら。

東武バスがスカウト、リーダー、関係者全員の輸送を半額料金で奉仕されたことに対し、各隊はじめ役員一同感謝しております。

第6回群馬野営大会

昭和29. 8. 6~11

赤城大沼湖畔

健児門



キャンプサイトの朝



県連結成5周年記念大会

昭和29. 10. 30

前橋市





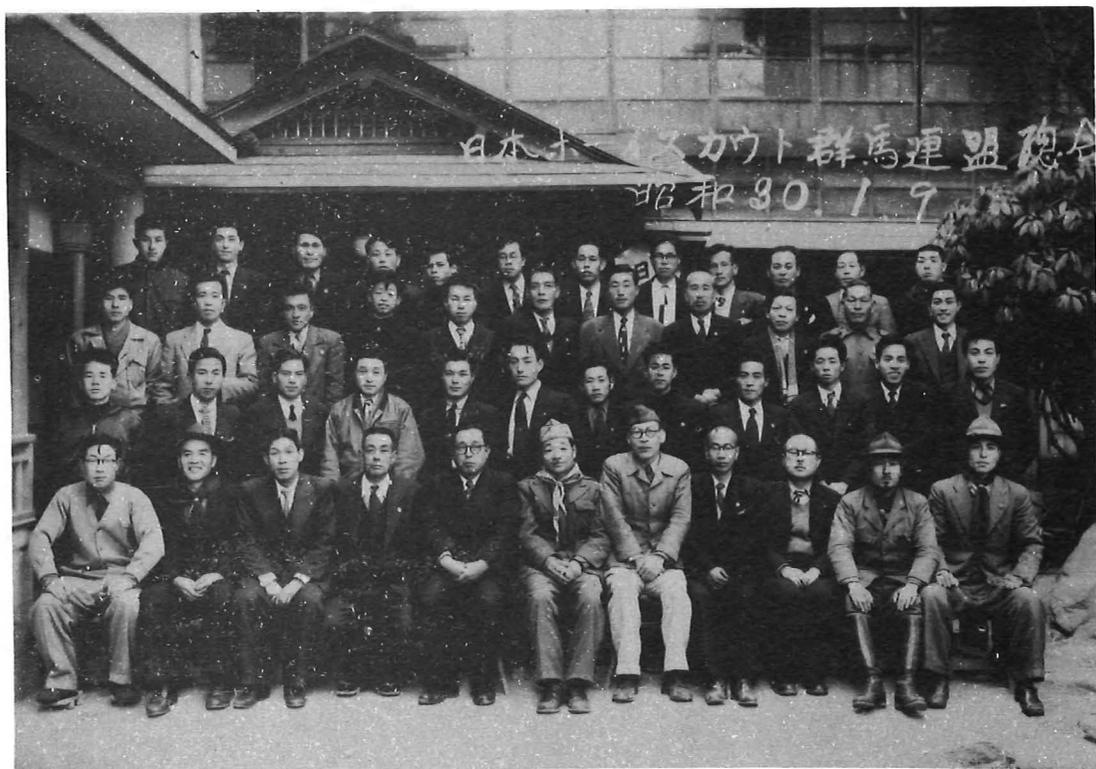
総長代理 河合寿三郎氏挨拶



表彰を受ける 星野宏先生

県連総会

昭和30.1.9 伊香保



30年度

主な行事

- 4月6日 理事会
前橋市県庁内職員研修所
29年度行事・会計報告
30年度予算・行事計画
新組織による役員欠員選出
事務局運営その他
- 6月24日 第1回全国指導者会議
～25日 埼玉県所沢市西武園内ユネスコ村
指導面に関する問題を協議し年次総会に反映せしめた。隊長・副長5ヶ年勤続奉仕の特別年功章も授与された。
- 6月25日 昭和30年度全国年次総会
～26日 埼玉県所沢市・西武園～ユネスコ村
- 7月26日 第19回B S指導者養成講習会
～28日 沼田市薄根中学校
主任講師三沢祐長 受講者16名
- 7月28日 1級スカウト富士特別訓練
～ 日連山中野営場
- 8月3日 本県参加者 指導者2名 スカウト24名
- 8月6日 第7回全群馬B S野営大会
～8日 桐生市相生町神平
参加 24ヶ隊 スカウト296名
- 8月18日 第八回世界ジャンボリー
～28日 本県より桜井 正氏選ばれたが学校の関係で不参加
- 11月6日 県連結成6周年記念大会
渋川市立渋川中学校々庭
参加 39ヶ隊 597名
- 昭和31年
1月7日 県連総会
～8日 伊香保福一旅館

加盟登録

隊 数	50
隊 委 員	181
リーダー	147
スカウト	823

計 1.151

第7回全群馬B S野営大会 桐生神平

受付け終り野営地に急ぐ



設営完了隊より点検



僕等のお城



開 会 式



連盟長 北野重雄知事のごあいさつ

参加スカウト記念写真



第19回

B S 指導者養成講習会

昭和30. 7. 26~28

沼田市薄根中

31年度

主な行事

- 4月3日 第20回指導者養成会
 ~5日 前橋市敷島公園楽々園
 主任講師三沢祐長 受講者10名
 隊長研修会
 前橋市敷島公園
 主任講師星野宏 研修者3名
- 4月15日 理事・コミ会議
 社教課長持丸理喜男理事転任、後任に山口好見課長
- 4月22日 県連指導者会議
 桐生市役所議員控室
- 5月12日 日連総会
 ~13日 埼玉県秩父長瀬
 小井戸哲夫、星野宏、後藤龍堂
 三氏出席
- 5月27日 日本ジャンボリー準備会
 群馬会館
- 8月1日 第8回全群馬BS野営大会
 ~3日 長野県軽井沢
- 8月3日 第1回日本ジャンボリー
 ~8日 長野県軽井沢
 参加 全国 869隊 11,640名
 本県 400名
- 9月9日 理事会・指導者反省会
 群馬会館三階会議室
 北野重雄連盟長知事辞任に付、後任知事竹腰俊蔵氏を連盟長に推戴
- 11月4日 県連結成7周年記念大会
 伊勢崎市公民館 参加者700名
- 12月15日 第2回CS指導者養成講習会
 ~16日 桐生市相生町薬王寺
 応援講師日連井上茂指導主事
 主任講師後藤龍堂 受講者26名
- 昭和32年
 1月19日 県連総会
 ~20日 伊香保福一旅館

- 2月17日 理事会
 前橋カトリック教会
- 3月30日 コミッショナー会議
 前橋カトリック教会
 32年度の行事について協議

加盟登録

隊数	34
隊委員	114
リーダー	102
スカウト	746

計 1.069

第1回日本ジャンボリー



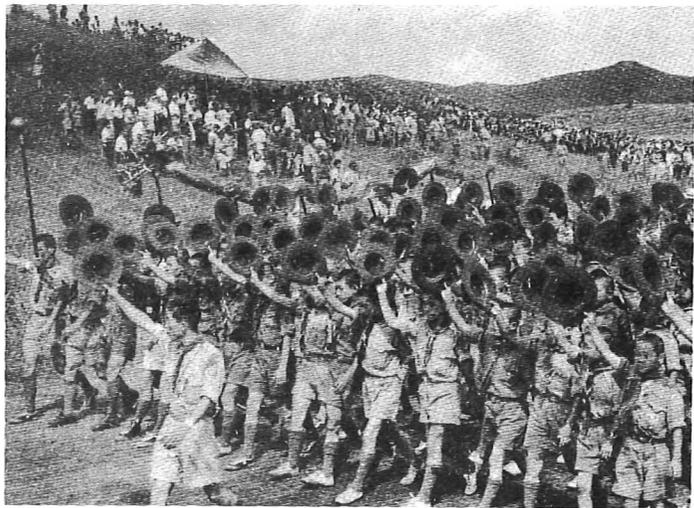


第1回日本ジャンボリー

群馬本部員

昭和31. 8. 3~8

軽井沢



第2回カブ指導者

養成講習会

昭和31. 12. 15~16

桐生市相生町

薬王寺

32年度

参加 600名

12月7日 主任講師協議会・ブロックコミッ

～8日 ショナー会議

沼田市長寿院

主な行事

- 4月6日 関東ブロック協議会
～7日 千葉県船橋
関東キャンポリーについて、他
- 4月21日 理事会
前橋カトリック教会
- 4月27日 第21回B S指導者養成講習会
～29日 桐生市相生町薬王寺
主任講師後藤龍堂 受講者8名
- 5月11日 日連総会
兵庫県宝塚温泉 後藤龍堂氏出席
- 6月9日 コミッショナー・名誉会議
群馬会館県連本部
- 6月22日 関東野営大会準備打合せ会
千葉県銚子市 後藤龍堂、土屋喜英、栗原国太郎、三氏出席
- 7月13日 理事・指導者会議
群馬会館
- 8月1日 第9回全群馬B S野営大会
～2日 千葉県銚子君ヶ浜海岸
参加 18隊 287名
- 8月2日 関東キャンポリー
～5日 千葉県銚子君ヶ浜海岸
- 8月4日 アメリカB S第三地区野営大会
～30日 高崎第7隊 吉田信之君参加
- 8月27日 第22回B S指導者養成講習会
～29日 伊香保芦花会館
主任講師後藤龍堂 受講者11名
- 9月29日 指導者会議
前橋カトリック教会
- 10月5日 第3回C S指導者養成講習会
～6日 太田市公民館
主任講師北条富司 受講者7名
- 10月26日 第23回B S指導者養成講習会
～27日 太田市公民館
- 11月2日 主任講師北条富司 受講者9名
～3日
- 11月17日 県連結八周年記念大会
藤岡市藤岡小学校々庭

32年度県連役員

連 盟 長	竹 腰 俊 藏
副 連 盟 長	黒 沢 得 男
〃	久保田 茂一郎
理 事 長	小井戸 哲 夫
副 理 事 長	高 橋 邦 一
〃	丸 岡 興 舜
理 事	後 藤 龍 堂
〃	村 沢 信 夫
〃	三 沢 祐 長
〃	正 田 豊 作
〃	北 条 富 司
〃	星 野 宏
〃	山 口 好 見
〃	鈴 木 武 雄
〃	岡 田 徳 次 郎
〃	大 島 宗 作
〃	栗 原 博
〃	荻 野 今 朝 造
〃	中 島 勇 三
〃	勝 実 道
〃	牧 野 房 男
〃	工 藤 友 吉
〃	横 内 甲 子 吉
〃	栃 原 潤
〃	石 坂 吉 寿
県コミッショナー	村 沢 信 夫
副コミッショナー	北 条 富 司
〃	桜 井 玉 寿
監 事	小野塚 静 二
〃	山 口 茂
名誉会議員	星 野 宏
〃	三 沢 祐 長
〃	植 松 勝 次
〃	竹 内 正 隆
〃	佐 川 一 衛

事務局長	後藤龍堂
局員	土屋喜英
ク	山田嘉一郎
ク	後藤富子
ク	新井勝二

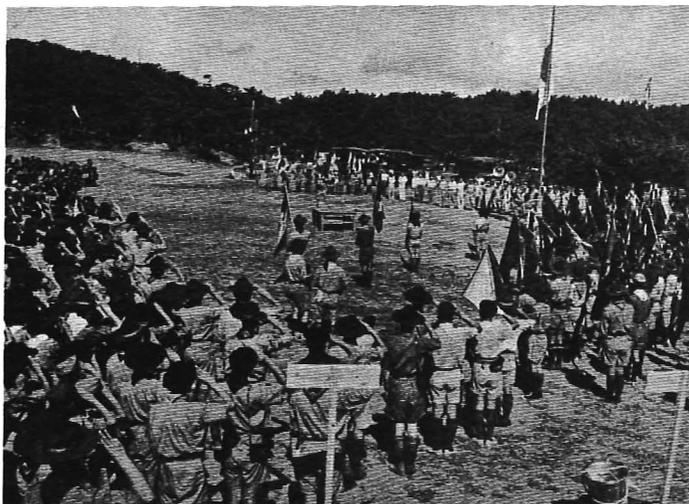
加盟登録

隊数	30
隊委員	148
リーダー	80
スカウト	643

計	871
---	-----



関東キャンボリー
昭和32.8.2~5
銚子



アメリカ第3地区野営大会

高崎第7隊

吉田信之君参加

海外派遣県連第1号

33年度

主な行事

- 4月20日 県連総会
前橋市群馬会館三階第1会議室
県連盟規約改正による新組織移行のため県連総会
県連盟規約案審議
役員改選
32年度各種報告 33年度計画審議
- 4月26日 第24回BS指導者養成講習会
～29日 桐生市水道山公園
主任講師吉川亀吉 受講者18名
- 4月27日 理事会
桐生市水道山
- 6月8日 コミッショナー会議
群馬会館BS本部
- 6月26日 新役員就任挨拶 知事、教育長、
県社教、前橋市長、社教訪問
- 7月6日 理事会
前橋カトリック教会
- 7月20日 富士野営参加シニアスカウト特別
訓練 群馬会館
- 8月1日 隊長研修会
～4日 前橋市敷島公園
主任講師後藤龍堂 受講者
指導者養成基準改正による研修会
- 8月2日 第10回全群馬BS野営大会
～4日 前橋市敷島公園
参加者 700名
- 7月27日 シニアスカウト富士野営
- 8月1日 日連山中野営場
参加 指導者 福田 勉
スカウト 8名
- 8月15日 第25回BS指導者養成講習会
～17日 水上町小学校
主任講師星野 宏 受講者7名
- 8月22日 第26回BS指導者養成講習会
～24日 藤岡市七丁目三夜塾
主任講師勝 実道 受講者17名
- 10月26日 国際ロータリー第355地区年次大

- ～28日 会 前橋市にて開催
スカウト会場整理、観光地案内に
奉仕、三島総長臨席
- 11月9日 県連結成9周年記念大会
桐生市産業文化会館 参加 700名

昭和34年

- 1月17日 役員・指導者新年懇親会
前橋カトリック教会
34年度事業計画について
- 1月24日 第27回BS指導者養成講習会
～25日 伊勢崎市豊受公民館
- 1月31日 主任講師桜井玉寿 受講者9名
- 2月1日

33年・34年度県連役員

連盟長	竹 腰 俊 藏
副連盟長	黒 沢 得 男
〃	久保田 茂一郎
理事長	勝 実 道
副理事長	正 田 豊 作
〃	丸 岡 興 舜
理 事	山 口 好 見
〃	高 橋 邦 一
〃	横 内 甲子吉
〃	大 島 宗 作
〃	武 藤 敏 夫
〃	鈴 木 武 雄
〃	森 田 嘉 藏
〃	吉 川 亀 吉
〃	野 村 勇 雄
〃	森 正 雄
〃	高 橋 徳 江
〃	松 村 節 夫
〃	牧 野 房 男
〃	上 田 由 一
〃	工 藤 友 吉
〃	福 田 実
〃	栃 原 潤
〃	須 藤 範 二
〃	星 野 徳 寿
〃	鈴 木 忠
〃	阿 部 四 郎

県コミッショナー	星 野	宏
副コミッショナー	小井戸	哲 夫
〃	北 条	富 司
〃	後 藤	龍 堂
監 事	小野塚	静 二
〃	榎 原	政 治
名誉会議員	栗 原	博
〃	村 沢	信 夫
〃	岡 田	徳次郎
〃	荻 野	今朝造
〃	富 沢	宏
事務局長	桜 井	玉 寿
局 員	野 村	稲 治



人命救助章に輝くスカウト

園 部	洋	(桐生第6団)
金 子	浩 二	〃
井 出	薫	〃



キャンプサイトも整備されて
第10回野営大会

加盟登録

団 数	26
隊 数	32
団 委 員	129
リーダー	99
スカウト	722

計	950
---	-----

功勞者
野村稲治氏



第26回BS指導者
養成講習会
昭和33.8.22~24
藤岡市



34年度

主な行事

- 4月5日 第10回世界ジャンボリー（フィリピン・マニラ郊外）派遣員銓衡会
前橋市群馬会館BS本部
銓衡結果
正規要員指導者 後藤 龍堂
 高 頭 和之
正規要員スカウト 鈴木 修
 下 城 博充
 小 林 茂美
 飯 塚 登
 久保田 覚
 井 上 士郎
 野 口 薫
 野 村 義征
補欠要員スカウト 伊丹 一利
 森 孝二
- 4月26日 県連昭和34年度年次総会
前橋市商工会議所
- 5月16日 全国総会
～17日 滋賀県大津市
勝実道、星野宏、後藤龍堂、桜井玉寿、4氏出席
- 6月7日 指導者集会
伊勢崎市桜町公民館
世界・日本ジャンボリー、県大会について
第10回世界ジャンボリー派遣員が正式に決定
指導者 後藤龍堂
スカウト 鈴木 修 下城博充
 小林茂美 飯塚 登
 久保田覚 井上士郎
 野口 薫 野村義征
 伊丹一利 以上10名
- 6月13日 第4回CS指導者養成講習会
～14日 高崎市大観音慈眼院
主任講師金井佐伝 受講者17名
- 6月20日 関東ブロック会議
茨城県大洗町海岸魚来庵
日本ジャンボリーについて
- 7月7日 世界ジャンボリー派遣員出発
- 7月16日 世界ジャンボリー
～26日 フィリピン・マニラ郊外マツキン
リン国立公園
- 8月3日 第2回日本ジャンボリーに出発
- 8月6日 第2回日本ジャンボリーに参加
～10日 滋賀県餐庭野（あいばの）
参加 18隊 役員17名 指導者50
名 スカウト 281名 計 348名
- 8月12日 全員無事帰県
- 8月21日 第11回全群馬BS野営大会
～23日 太田市公民館 参加 700名
- 10月25日 理事会・名誉会議
前橋カトリック教会
- 11月8日 県連結成10周年記念大会
沼田市西小学校々庭
10年継続団表彰
沼田第1団 伊勢崎第1団 前橋
第1団 太田第1団 沼田第3団
伊香保第1団 桐生第7団 藤岡
第1団 桐生第2団 伊勢崎第5
団 伊勢崎第6団
- 昭和35年
- 1月16日 新年懇親会
～17日 水上町大穴ナルタキ旅館
- 1月23日 第28回BS指導者養成講習会
～24日 伊勢崎市豊受公民館
30日 主任講師星野 宏 受講者10名
～31日
- 3月1日 日本連盟宣伝車派遣
～4日 倍加運動、未結成地域への認識
日連 石川一郎、鈴木孝雄、二氏
県連 星野 宏 県コミッショナー
桜井玉寿事務局長
- 1日 館林市、大泉町 説明会・映画会
2日 渋川市、新治村 〃 〃
3日 中之条、安中市 〃 〃
4日 高崎市、新 町 〃 〃

加盟登録

団 数	26
隊 数	36
団 委 員	174
リーダ―	100
スカウト	881

計 1.155

第10回世界ジャンボリー
派遣員をかこんで
昭和34.6.7
伊勢崎



第2回日本ジャンボリー
昭和34.8.6~10
あいばの



第28回指導者養成講習会
昭和35.1.23~24
30~31
伊勢崎

35年度

主な行事

- 4月10日 理事会・コミッショナー会議
伊勢崎市茂呂山楽荘
- 4月24日 昭和35年度県連年次総会
前橋市公民館
- 5月14日 全国年次総会
～15日 静岡県御殿場中央青年の家
星野 宏、桜井玉寿、勝 実道、
栗原 博、4氏出席
- 5月22日 スカウト・シンポジウム
U・S・A ジュピリージャンボリー
参加者社行会を兼ねる
伊勢崎市公民館 参加 600名
- 6月5日 指導者会議
前橋市公民館
日連規約改正・進歩制度について
- 6月11日 第5回CS指導者養成講習会
～12日 前橋カトリック教会
主任講師星野 宏 受講者27名
- 7月9日 U・S・A ジュピリージャンボリー
～
- 8月16日 参加者 指導者 勝 実道 スカ
ウト 久保田 英利（伊勢崎）
日連関係 佐藤春重
- 7月26日 年長隊富士野営
～31日 日連山中野営場
参加 榎原一治（伊勢崎第6団）
- 9月4日 県連理事会
前橋カトリック教会
- 10月1日 北条富司事務局長勤務の関係上事
務局長辞任、後任に吉川亀吉氏が
就任、事務局桐生市高砂町 266に
移る。
- 10月8日 関東ブロック会議
神奈川県箱根湯本みどり荘
勝実道理事長、星野宏県コミ出席
- 10月23日 県連理事会
高崎市小野塚理事宅

11月16日 県連結成11周年記念大会
高崎市立東小学校々庭
参加者 800名

昭和36年

1月10日 新年懇親会
前橋市石倉町水明荘

35年度県連役員

連 盟 長	竹 腰 俊 藏
副 連 盟 長	黒 沢 得 男
〃	久保田 茂一郎
〃	三 沢 祐 長
理 事 長	勝 実 道
副 理 事 長	小野塚 静 二
〃	森 田 嘉 藏
〃	丸 岡 興 舜
理 事	森 正 雄
〃	徳 永 十四男
〃	小 林 武四郎
〃	下 城 敏 良
〃	栗 原 博
〃	松 村 節 夫
〃	牧 野 房 男
〃	上 田 由 一
〃	工 藤 友 吉
〃	福 田 実
〃	須 藤 範 二
〃	星 野 徳 寿
〃	佐 藤 英 三
〃	鶴 淵 正 美
〃	下 山 常 治
〃	高 橋 秀 雄
〃	高 橋 邦 一
〃	横 内 甲子吉
〃	大 島 宗 作
〃	野 口 喜一郎
〃	栗 原 国太郎
〃	野 口 馨
県コミッショナー	星 野 宏
副コミッショナー	後 藤 龍 堂
〃	村 沢 信 夫

監 事		榎 原 政 治
〃		佐 山 弥一郎
名誉会議員		松 本 庄 八
〃		古 川 清 司
〃		荻 野 今朝造
〃		富 沢 宏
事務局長	4月1日	北 条 富 司
〃	10月1日	吉 川 亀 吉
局 員		小井戸 哲 夫
〃		桜 井 玉 寿
〃		野 村 稻 治
〃		北 条 富 司

全国年次総会

昭和35. 5. 14~15 御 殿 場



加盟登録

団 数	25
隊 数	36
団 委 員	194
リーダー	102
スカウト	951
<hr/>	
計	1.247

U.S.A ジュピリージャンボリー



北 条 富 司 氏

県連結成記念大会

記念バッジのいろいろ



5 周年



6 周年



8 周年



9 周年



10 周年



11 周年

36年度

主な行事

- 4月2日 県連36年度年次総会
 ～3日 伊香保福一旅館
 事業・会計報告、事業計画・予算
 計画、役員改選
- 5月20日 日連年次総会
 ～21日 山形県山形市山形放送会館
 三沢祐長、勝実道、星野宏、吉川
 亀吉、4氏出席
- 7月15日 第六回CS指導者講習会
 ～17日 高崎観音山慈眼院
 主任講師金井佐伝 受講者24名
- 7月26日 年長隊富士野営
 ～31日 日連山中野営場
 参加スカウト 山本貞良、鈴木一
 久、小泉美雄、松本滋、4名
- 6月28日 沖縄スカウトとの交歓派遣
 ～ 派遣員 茂木一産、神倉正生、高
 橋順三郎、徳永 詢、4名
- 8月10日 橋順三郎、徳永 詢、4名
- 8月3日 第12回全群馬BS野営大会
 ～7日 利根郡丸沼湖畔
 参加 500名(カブ含)
- 10月1日 県連理事会
 前橋カトリック教会
- 10月15日 県連結成12周年記念大会
 前橋市群馬会館大ホール
 参加スカウト 700名
- 10月21日 関東ブロック指導者懇談会
 ～22日 埼玉県奥秩父三峰神社
 勝実道、吉川亀吉、佐山弥一郎、
 佐藤春重、金井佐伝、5氏出席
- 11月17日 星野 宏、村沢信夫 2氏日連進
 歩委員に委嘱さる。
- 昭和37年
- 1月28日 県連理事会・新年懇親会
 桐生菱村東泉閣
- 3月3日 第30回BS指導者養成講習会
 ～5日 高崎観音山慈眼院
 主任講師星野 宏 受講者26名

36年度県連役員

連盟長	神田 坤 六
副連盟長	黒沢 得 男
〃	久保田 茂一郎
理事長	勝 実 道
副理事長	小野塚 静 二
〃	森 田 嘉 蔵
〃	丸 岡 興 舜
理 事	高 橋 秀 雄
〃	高 橋 邦 一
〃	横 内 甲子吉
〃	大 島 宗 作
〃	野 口 喜一郎
〃	栗 原 国太郎
〃	森 正 雄
〃	徳 永 十四男
〃	小 林 武四郎
〃	下 城 敏 良
〃	栗 原 博
〃	松 村 節 夫
〃	牧 野 房 男
〃	上 田 由 一
〃	工 藤 友 吉
〃	福 田 実
〃	須 藤 範 二
〃	星 野 徳 寿
〃	鶴 淵 正 美
〃	野 口 馨
〃	下 山 常 治
〃	佐 瀬 英 三
県コミッショナー	星 野 宏
副コミッショナー	後 藤 龍 堂
〃	村 沢 信 夫
監 事	榎 原 政 治
〃	佐 山 弥一郎
名誉会議員	松 本 庄 八
〃	古 川 清 司
〃	荻 野 今朝造
〃	富 沢 宏

事務局長	吉川 亀吉
局員	北条 富司
〃	小井戸 哲夫
〃	桜井 玉寿
〃	野村 稲治

加盟登録

団 数	26
隊 数	35
団 委 員	185
リ ー ダ ー	139
ス カ ウ ト	975

計	1,299
---	-------

関東ブロック指導者懇談会
昭和36.10.21~22 埼玉 三峰



第6回CS指導者講習会
昭和36.7.15~17
高崎 観音山

第12回全群馬BS野営
大会場
利根郡丸沼湖畔



37年度

主な行事

- 3月25日 昭和37年度県連年次総会
伊香保福一旅館
- 4月5日 第1回群馬カブラリー
～6日 高崎市
参加カブスカウト 300名
- 5月12日 日連年次総会
～13日 愛媛県松山市
星野宏、勝実道、野口喜一郎、吉川亀吉、4氏出席
- 6月2日 第11回世界ジャンボリー参加スカウト選考会
日連那須野営場
県連より 小野里清治、徳永詢、両君参加
- 6月10日 指導者集会 前橋
アジア・ジャンボリーについて
- 7月9日 第11回世界ジャンボリー参加者決定、指導者勝実道、スカウト小野里清治
- 7月14日 第7回年少部指導者養成講習会
～16日 高崎市護国神社
主任講師金井佐伝 受講者26名
- 7月21日 第8回年少部指導者養成講習会
～22日 第31回年少部指導者養成講習会
28日 沼田市オリент工芸
～29日 主任講師星野 宏
受講者 年少部 11名 少年部 19名
- 8月1日 アジア・ジャンボリー参加出発
～8日 (兼第13回全群馬BS野営大会)
全員無事帰県
- 8月25日 第32回年少部指導者養成講習会
～27日 安中市蓮久寺
主任講師星野 宏 受講者13名
- 9月9日 県連理事会・名誉会議 前橋
- 10月20日 第33回年少部指導者養成講習会
～21日 第9回年少部指導者養成講習会
27日 桐生市東小学校

～28日 主任講師(少年部) 後藤龍堂
受講者 22名
主任講師(年少部) 金井佐伝
受講者 23名

11月4日 県連結成13周年記念大会
安中市安中小学校 参加 1,170名

昭和38年

- 1月12日 新年懇親会・理事会
伊香保福一旅館
- 2月9日 関東ブロック会議
～10日 千葉県木更津市青年の家
星野宏、勝実道、野口喜一郎、吉川亀吉、佐山弥一郎、斉藤清治、6氏出席
- 3月3日 県コミッショナー会議
前橋小野里理事方
高崎地区BP祭 市内中央公民館
- 3月30日 世界ジャンボリー派遣準備訓練
～ 日連 那須野営場
- 4月1日 勝 実道、小野里清治、参加
八木節指導に桜井玉寿特別参加
- 3月31日 全国カブラリー
大宮市 本県参加 400名

37年度県連役員

連 盟 長	神 田 坤 六
副 連 盟 長	田 村 逐
〃	大 島 宗 作
理 事 長	勝 実 道
副 理 事 長	野 口 喜 一 郎
〃	徳 永 十 四 男
理 事	森 田 嘉 蔵
〃	福 田 実
〃	村 沢 信 夫
〃	工 藤 友 吉
〃	佐 山 弥 一 郎
〃	佐 藤 英 三
〃	榎 原 政 治
〃	佐 藤 春 重
〃	森 泉 賢 吾
〃	ル シ ア ン
〃	小 林 武 四 郎

〃	浅 香 晃
〃	小野里 和四郎
〃	塚 越 敏 彦
〃	吉 田 良 八
〃	小野塚 静 二
〃	上 田 由 一
〃	栗 原 国太郎
〃	久 保 茂
〃	五十木 朝 雄
〃	下 山 常 治
〃	須 藤 範 二
〃	星 野 德 寿
〃	丸 岡 興 舜
〃	横 内 甲子吉
〃	高 橋 巖
〃	久保田 茂一郎
〃	下 城 敏 良
〃	栗 原 博 夫
〃	松 村 節 夫
〃	星 野 宏
〃	副コミッショナー 村 沢 信 夫
〃	後 藤 龍 堂
〃	監 事 高 橋 邦 一
〃	淡 木 羨 夫
〃	名誉会議員 小井戸 哲 夫
〃	北 条 富 司
〃	桜 井 玉 寿
〃	古 川 清 司
〃	事務局長 吉 川 亀 吉
〃	局 員 広 田 秀 夫

加盟登録

団 数	29
隊 数	41
団 委 員	212
リ ー ダ ー	170
ス カ ウ ト	1.457
計	1.457

全国カブラリー

昭和38.3.31 埼玉県大宮市



アジア・ジャンボリー

昭和37.8.3~8 静岡県御殿場



38年度

主な行事

- 4月14日 昭和38年度県連年次総会
高崎市野村證券階上
- 4月27日 実修所員研究協議会
吉川亀吉、佐山弥一郎、金井佐伝
齊藤清治、村沢信夫、福田実、真木実、7氏参加
- 5月4日 群馬県郷土美化運動 各団参加
- 5月11日 日連年次総会
東京明治神宮参集殿
星野宏、勝実道、吉川亀吉、野口喜一郎
表彰式に 榎原政治、佐山弥一郎
齊藤清治、服部政美、計8氏出席
- 5月19日 県コミ・常任理事会
前橋第5団集会所
- 6月2日 県野営大会実行委員会
前橋第5団集会所
- 6月22日 関東ブロック会議
～23日 栃木県鬼怒川星の屋旅館
星野宏、吉川亀吉、野口喜一郎、
榎原政治、佐藤春重、塚越俊彦、
小野里和四郎、金井佐伝、齊藤清
治、9氏出席
- 7月6日 関東ブロック事務局長会議
～7日 伊香保福一旅館
来年度関東キャンポリーについて
- 7月13日 第10回CS指導者養成講習会
～15日 安中市蓮久寺
主任講師金井佐伝 受講者39名
- 7月20日 第34回BS指導者養成講習会
～22日 太田市公民館
主任講師星野 宏 受講者27名
- 8月1日 第14回全群馬BS野営大会
～4日 北群馬郡榛東村陸上自衛隊第12師
団相馬ヶ原演習場 参加 600名
- 8月19日 第2回ソングリーダー講習会
～20日 太田市公民館
講師 桜井玉寿、谷 正之、金井

- 佐伝 受講者35名
- 8月27日 第11回世界ジャンボリー壮行会
群馬会館地下食堂
派遣員 勝実道、小野里清治
- 9月2日 世界ジャンボリー派遣員無事帰還
- 9月22日 県連理事会・指導者集会
前橋市愛全会館
- 9月26日 県連常任理事会
前橋萱町会議所
- 10月13日 県連名誉会議
前橋小野里氏宅
- 11月3日 県連結成14周年記念大会
館林市三の丸公園 参加 1,300名
- 11月30日 第35回BS指導者養成講習会
～ 太田市公民館
- 12月2日 主任講師星野 宏 受講者36名
- 昭和39年
- 1月19日 関東ブロック会議
～20日 県連理事会
猿が京・湖城閣 県連参加15名
関東キャンポリーについて
- 1月26日 指導者会議
前橋宮内センター 出席56名
- 2月1日 県連常任理事会
前橋第5団会議室
- 2月9日 団委員長会議・団委員長講習会
伊香保福一旅館
- 3月1日 県コミッションナー会議
前橋第5団会議室
- 3月15日 第2回団委員長会議
前橋第5団会議室

38年度県連役員

連 盟 長	神 田 坤 六
副 連 盟 長	大 島 宗 作
〃	三 沢 祐 長
理 事 長	勝 実 道
副 理 事 長	野 口 喜 一 郎
〃	徳 永 十 四 男
理 事	工 藤 友 吉
〃	福 田 実
〃	村 沢 信 夫

〃	森田嘉蔵
〃	榎原政治
〃	佐藤英三
〃	佐藤春重
〃	森泉賢吾
〃	ルシアン
〃	浅香晃
〃	小野里和四郎
〃	塚越俊彦
〃	吉田良八
〃	小野塚静二
〃	上田由一
〃	栗原国太郎
〃	久保茂
〃	下山常治
〃	須藤茂寿
〃	星野徳一
〃	久保田茂一郎
〃	下城敏良
〃	栗原博
〃	松村節夫
〃	星野宏夫
〃	副コミッショナー
〃	村沢信夫
〃	後藤龍堂
〃	桜井玉寿
〃	監事
〃	高橋邦一
〃	名譽會議員
〃	渋谷羨夫
〃	小井戸哲夫
〃	北条富司
〃	古川清司
〃	事務局長
〃	吉川亀吉
〃	局員
〃	広田秀夫
〃	野村稲治

加盟登録

団 数	34
隊 数	52
団 委 員	290
リ ー ダ ー	210
ス カ ウ ト	1.238
<hr/>	
計	1.738

実修所員研究協議会

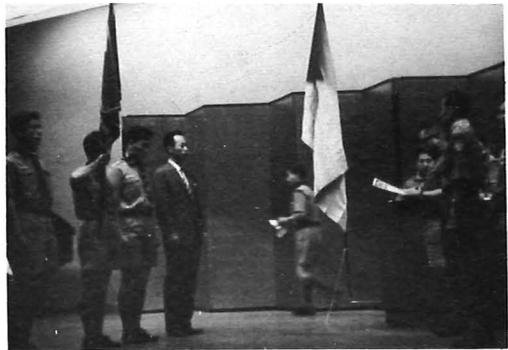
昭和38.4.27 那 須



日連公共奉仕授

太田連合隊に輝く

昭和38.5.12 東京明治神宮



第11回世界ジャンボリー壮行会

昭和38.8.27 群馬会館



39年度

主な行事

4月26日	昭和39年度県連年次総会 前橋警察署二階
5月13日	日連年次総会 北海道・札幌 三沢祐長、星野宏、吉川亀吉、小野里和四郎、4氏出席
6月14日	県連理事会 前橋第5団会議室
6月21日	関東ブロック会議 伊香保福一旅館
6月25日	県コミッショナー会議 前橋楽々園
7月17日	第11回年少部指導者養成講習会 高崎観音山慈眼院 主任講師金井佐伝 受講者31名
7月30日	ボーイスカウト関東合同野営 ～ 第15回全群馬BS野営大会
8月2日	榛名山沼の原 参加 1,000名
9月13日	関東合同野営反省会 前橋愛全会館
9月26日	県コミ会議 沼田星野宏宅
10月2日	〃 前橋萱町公民館
10月3日	県連理事会 前橋市油屋旅館
10月11日	名誉会議 桐生市後藤龍堂宅
10月16日	第36回BS指導者養成講習会 ～18日 高崎市少林山 主任講師金井佐伝 受講者16名
11月1日	県連結成15周年記念大会 前橋市
11月7日	石坂泰三総裁推戴式 神田駿河台中央大学 5名出席
11月21日	第37回BS指導者養成講習会 ～22日 高崎市観音山慈眼院 主任講師星野宏 受講者7名
11月29日	県連理事会 前橋萱町公民館
12月19日	〃 〃
12月27日	〃 高崎青雲塾 県コミ推薦の件

昭和40年

1月14日	県コミ会議 高崎金井佐伝宅
1月17日	県連理事会 前橋宮内センター
1月25日	県コミ会議 前橋天川会場
2月6日	県連理事会・関東ブロック会議 伊香保福一旅館 関東カブラリーについて
2月13日	県コミ会議 伊香保福一旅館
3月7日	関東カブラリー実行委員会 行田市魚七 吉川、金井出席
3月19日	第12回CS指導者養成講習会 ～21日 水上町松泉閣 主任講師金井佐伝 受講者31名
3月28日	県連理事会 前橋愛全会館

39年度県連役員

連盟長	神田 坤 六
副連盟長	田村 逐
〃	三沢 祐長
理事長	勝 実道
副理事長	野口 喜一郎
〃	北川 好雄
理事	徳永 十四男
〃	森田 嘉藏
〃	工藤 友吉
〃	佐藤 春重
〃	森泉 賢吾
〃	須藤 茂
〃	栗原 博
〃	塚越 俊彦
〃	鈴木 武雄
〃	福田 実
〃	松村 節夫
〃	小野里 和四郎
〃	浅香 敏子
〃	服部 政美
〃	布施 賢一
〃	深沢 長平
〃	正田 宗藏
〃	沢田 満
〃	宮沢 一典
〃	曾我 喜一郎

県コミッショナー	星 野 宏
副コミッショナー	金 井 佐 伝
〃	佐 山 弥一郎
〃	齊 藤 清 治
〃	村 沢 信 夫
監 事	小野塚 静 二
〃	榎 原 政 治
名誉会議員	小井戸 哲 夫
〃	北 条 富 司
〃	村 沢 信 夫
〃	桜 井 玉 寿
〃	後 藤 龍 堂
事務局長	吉 川 亀 吉
事務局次長	小野里 和四郎

関東合同野営

昭和39. 7. 30~8. 2

榛 名 山



加盟登録

団 数	31
隊 数	52
団 委 員	272
リーダー	184
スカウト	1.335
<hr/>	
計	1.791

ハイキングに出発



関東合同野営

御出席の三島総長

病をおして

我々スカウトの為に
導きの言葉を

いただいた

残念ながらこれが

最後の言葉に
なってしまった



40年度

主な行事

- 4月14日 県コミ会議 前橋市天川
 4月24日 故三島通陽総長日本連盟葬
 東京渋谷公会堂 代表6名参列
 4月25日 県コミ会議 伊勢崎桜井玉寿方
 4月29日 県連理事会 高崎青雲塾
 5月5日 県連年次総会
 藤岡市第1幼稚園
 5月8日 日連年次総会 東京明治神宮
 勝実道、鈴木武雄、吉川亀吉、小野里和四郎、4氏出席
 5月14日 第13回年少部指導者養成講習会
 太田市公民館
 主任講師金井佐伝 受講者30名
 6月11日 県コミ会議 前橋第5団訓練所
 6月19～20日 7月17～18日 8月21～22日
 隊長研修会 前橋第5団訓練所
 主任講師勝実道 研修者8名
 6月27日 県連理事会 前橋第5団訓練所
 7月1日 指導者養成委員会 〃
 7月18日 県コミ会議 安中市板鼻町
 7月22日 県連理事会 婦人青少年センター
 7月27日 年長隊富士野営
 ～ 山中野営場 参加指導者 吉川
 亀吉、渋谷和夫両氏 隊員22名
 8月1日 中国(台湾) ジャンボリー
 ～15日 細谷和夫君(高崎) 参加
 8月17日 県コミ会議 伊勢崎住吉町会議所
 8月11日 第14回年少部指導者養成講習会
 ～22日 高崎青年の家
 主任講師金井佐伝 受講者24名
 8月20日 第38回少年部指導者養成講習会
 ～22日 前橋第5団訓練所
 主任講師勝実道 受講者27名
 9月5日 第1回スカウトラリー
 伊勢崎市華蔵寺公園 参加1200名
 10月3日 県連理事会 前橋天川
 10月24日 県コミ会議 〃
 11月9日 指導者養成委員会 高崎青年の家

- 11月12日 第39回少年部指導者養成講習会
 ～14日 高崎青年の家
 主任講師勝実道 受講者20名
 11月18日 県コミ会議 高崎青雲塾
 11月21日 県連理事会 〃
 11月28日 指導者会議 桐生三ツ葉電機KK
 日本ジャンボリーの件、その他
 12月26日 県名誉会議 前橋
 昭和41年
 1月9日 県連指導者新年顔合せ会
 高崎観音山ヘルスセンター
 参加者57名
 1月15日 関東ブロック会議
 山梨県甲府市湯村 勝実道、吉川
 亀吉、小野里和四郎、3氏出席
 2月6日 県連理事会 高崎青雲塾
 2月20日 B・P祭
 高崎市城東小学校体育館

40年度県連役員

連盟長	神田 坤 六
副連盟長	田村 逐
〃	三沢 祐 長
〃	飯塚 国 蔵
理事長	鈴木 武 雄
副理事長	野口 喜一郎
〃	徳永 十四男
〃	佐藤 春 重
理事	福田 実
〃	工藤 友 吉
〃	栗原 博
〃	森 泉 賢 吾
〃	小野里 和四郎
〃	塚越 俊 彦
〃	須藤 茂
〃	服部 政 美
〃	布施 賢 一
〃	深沢 長 平
〃	沢田 満
〃	宮沢 一 典
〃	曾我 喜一郎
〃	吉川 亀 吉

県コミッショナー	勝	実	道
副コミッショナー	桜井	玉	寿
〃	金井	佐	伝
〃	古川	清	司
監事	小野塚	静	二
〃	榎原	政	治
名誉会議員	小井戸	哲	夫
〃	北条	富	司
〃	村沢	信	夫
〃	後藤	龍	堂
〃	星野		宏
事務局長	吉川	亀	吉
事務局次長	小野里	和	四郎

隊長研修会

昭和40. 6. 19~20 7. 17~18
8. 21~22 前橋



加盟登録

団数	33
隊数	58
団委員	253
リーダー	195
スカウト	1,333
<hr/>	
計	1,781

第1回スカウトラリー

昭和40. 9. 5 伊勢崎



鷹章をうける

連盟長 神田 坤六 知事



年長隊富士野営

昭和40. 7. 27~8. 1 山中

水上訓練



41年度

主な行事

- 4月24日 県連理事会 桐生三ツ葉電機KK
 5月3日 〃 婦人青少年センター
 県連年次総会 〃
 昭和40年度事業・決算報告
 昭和41年度事業・予算計画
 役員改選
- 5月13日 第15回年少部指導者養成講習会
 ～15日 前橋市婦人青少年センター
 主任講師金井佐伝 受講者16名
- 5月14日 日連年次総会
 ～15日 岡山県岡山市県農業会館
 三沢祐長、佐藤春重、桜井玉寿、
 吉川亀吉、小野里和四郎、出席
 日本ジャンボリー会場視察
- 5月22日 関東カブラリー
 千葉県稲毛海岸 参加 388名
- 5月28日 県連理事会 高崎青雲塾
 5月29日 指導者会議 桐生三ツ葉電機KK
 日本ジャンボリーについて
- 6月3日 第40回年少部指導者養成講習会
 ～5日 前橋市婦人青少年センター
 主任講師勝 実道 受講者19名
- 7月3日 県コミ会議 伊勢崎市桜井方
 7月10日 県連理事会 前橋市柳田方
 7月17日 関東ブロック会議
 神奈川県横浜市留仙閣
- 8月5日 第4回日本ジャンボリー
 ～9日 岡山県日本原 全参加数30,000名
 本県参加 360名
- 9月4日 日本ジャンボリー反省会
 高崎市青雲塾
- 9月18日 県連理事会 高崎市青雲塾
 10月9日 県連役員会 〃
- 11月13日 団代表者会議 大間々ながめ
 11月26日 県連役員会 高崎市鈴木方
 12月4日 県連理事会 高崎市青雲塾
 12月25日 県コミ会議 前橋市柳田方
 1月15日 県連理事会 前橋市八百徳

2月16日 第2回B・P祭
 前橋市県スポーツセンター
 群馬連盟歌制定

作詩 鈴木比呂志 作曲 植村
 享 両先生に感謝状贈呈

3月5日 関東ブロック会議
 ～6日 高崎市観音山錦山荘
 第5回関東カブラリーについて

41年度県連役員

連盟長	神田 坤 六
副連盟長	田村 逐
〃	三沢 祐長
理事長	鈴木 武雄
副理事長	佐藤 春重
〃	徳永 十四男
〃	小野里 和四郎
理事	栗原 博
〃	福田 実
〃	吉川 亀吉
〃	榎原 政治
〃	塚越 俊彦
〃	森泉 賢吾
〃	横内 甲子吉
〃	布施 賢一
〃	服部 政美
〃	深沢 長平
〃	須藤 茂
〃	曾我 喜一郎
〃	今井 和夫
〃	柳田 栄一
〃	八田 要
〃	奥寺 郁三
〃	平出 光男
〃	仲作 治吉
〃	工藤 友吉
〃	原沢 益己
県コミッショナー	勝 実道
副コミッショナー	桜井 玉寿
〃	金井 佐伝
〃	古川 清司
〃	高頭 和之

監 事	高 橋 邦 一
〃	渋 木 羨 夫
名 譽 会 議 員	星 野 宏 夫
〃	小 井 戸 哲 夫
〃	北 条 富 司
〃	村 沢 信 夫
〃	後 藤 龍 堂
事 務 局 長	吉 川 亀 吉
事 務 局 会 計	小 野 里 和 四 郎

加盟登録

団 数	34
隊 数	59
団 委 員	246
リ ー ダ ー	193
ス カ ウ ト	1.336
<hr/>	
計	1.775

第15回少年部指導者養成講習会

昭和41.5.13~15

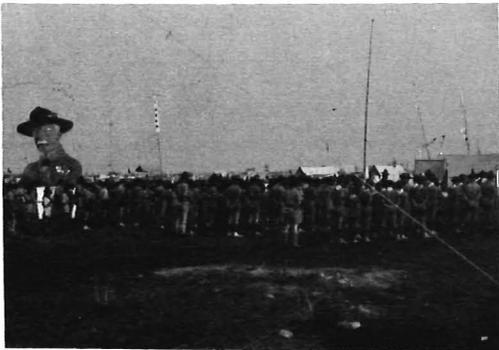
前橋婦人青少年センター



第40回少年部指導者養成講習会

昭和41.6.3~5

前橋婦人青少年センター



第4回日本ジャンボリー

昭和41.8.5~9



4 2 年 度

主な行事

- 4月2日 第5回関東カブラリー
高崎市観音山 参加数 6,000名
- 4月16日 県連理事会 高崎市青雲塾
- 5月7日 〃 〃
- 5月13日 日連年次総会
～14日 東京都富士銀行本店会議室
勝実道、桜井玉寿、星野宏、三沢
祐長、小野里和四郎、5氏出席
- 5月28日 県連年次総会
前橋市婦人青少年センター
昭和41年度事業・決算報告
昭和42年度事業・予算計画
役員改選
- 6月4日 総長諮問委員会 東京都
桜井玉寿氏出席
- 6月11日 県コミ会議 婦人青少年センター
- 6月25日 指導者会議 〃
テーマ BSの新しいビジョン
- 7月2日 国際野営スタッフ派遣員出発
～ 場所 アメリカ合衆国
- 8月29日 本県参加 中山章君(高崎11団)
- 7月9日 県連理事会 前橋市愛全会館
- 7月17日 第16回年少部指導者養成講習会
～23日 17、18、19、21、高崎市立図書館
22、23、高崎青年の家
主任講師金井佐伝 受講者35名
- 7月16日 第6回青年スカウト合同野営
～21日 日連山中野営場 高崎第19団青年
隊 富田憲一 中田耕一両君参加
- 7月21日 外国派遣スカウト壮行会
前橋市中央公民館一婦人青少年セ
ンター
第12回世界ジャンボリー
茂田 薫 桜井茂夫(高崎11団)
古川昌司(太田5団) 坪井良弘
(桐生4団) 三沢祐長(県連)
韓国ジャンボリー
常見佳久(桐生4団)

- 7月24日 昭和42年度年長隊富士野営
～29日 日連山中野営場 本県参加6名
- 8月1日 第12回世界ジャンボリー
～31日 アメリカ合衆国フアラガツト公園
- 8月13日 指導者養成委員会 前橋市萱町
- 8月25日 第41回青少年部指導者養成講習会
～27日 前橋市婦人青少年センター
主任講師桜井玉寿 受講者24名
- 9月10日 県コミ会議 赤堀村鑄木ガーデン
- 9月15日 第17回年少部指導者養成講習会
～17日 大泉町東京三洋電機KK
主任講師佐山弥一郎 受講者21名
第6回青少年部指導者研修会
佐波郡赤堀村鑄木ガーデン
主任講師桜井玉寿 研修者4名
- 10月7日 ソングリーダー講習会
～8日 前橋市婦人青少年センター
主任講師桜井玉寿 受講者37名
- 10月10日 常任理事会 センター内県連本部
- 10月14日 県コミ会議 〃
- 10月26日 名誉会議 〃
- 11月19日 県コミ会議・名誉会議 〃
- 12月2日 育成会長・団委員長会議
～3日 伊香保福一旅館
- 12月3日 指導者会議 伊香保福一旅館
- 12月24日 名誉会議 センター内県連本部
- 昭和33年
- 1月21日 新年顔合せ 群馬会館第2会議
県連理事会 前橋市愛全会館
- 2月18日 群馬連盟第3回B・P祭
桐生市産業文化会館
参加者 1,200名

42年度県連役員

連 盟 長	神 田 坤 六
副 連 盟 長	田 村 逐
〃	三 沢 祐 長
理 事 長	勝 実 道
副 理 事 長	福 田 実
〃	佐 藤 春 重
〃	徳 永 十四男

理 事	今 井 和 夫
〃	岩 田 正 男
〃	奥 寺 郁 三
〃	小野里 和四郎
〃	工 藤 友 吉
〃	栗 原 博
〃	坂 本 栄 治
〃	佐 野 金 作
〃	佐 山 弥 一 郎
〃	根 岸 努
〃	野 口 潔
〃	原 沢 益 己 一
〃	布 施 賢 一
県コミッショナー	桜 井 玉 寿
副コミッショナー	金 井 佐 伝
〃	波 木 羨 夫
〃	立 川 弁 祐 一
監 事	高 橋 邦 一
〃	柳 田 栄 一 司
名誉会議員	北 条 富 堂
〃	後 藤 龍 宏
〃	星 野 信 夫
〃	村 沢 信 夫
〃	吉 川 亀 吉
事務局長	小野里 和四郎
事務局次長	根 岸 努

加盟登録

団 数	33
隊 数	58
団 委 員	209
リーダー	185
スカウト	1.131

計 1.525

第5回関東カブラリー



第12回世界ジャンボリー



第41回少年部指導者

養成講習会

昭和42. 8. 25~27

前 橋 市

43年度

主な行事

- | | | | |
|--------|--------------------------------------|--|--|
| 4月21日 | 県コミ会議 婦人青少年センター | | |
| 4月28日 | 隊長研修会 桐生市立梅北山の家 | | |
| ～29日 | 主任講師 渋谷 義夫 研修者10名 | | |
| 5月3日 | 第42回少年部指導者養成講習会 | | |
| ～5日 | 沼田市教育記念館 | | |
| | 主任講師 星野 宏 受講者21名 | | |
| 5月12日 | 県連理事会 高崎市青雲塾 | | |
| 5月18日 | 日連年次総会 福岡県福岡市 | | |
| ～19日 | 勝実道、根岸努、星野宏(日連)
各氏出席 | | |
| 5月26日 | 県連年次総会 | | |
| | 前橋市婦人青少年センター | | |
| 6月8日 | 年少幹部訓練 | | |
| ～9日 | 吾妻郡高山村北毛青年の家 | | |
| 6月16日 | 県連理事会 前橋市愛全会館 | | |
| 6月23日 | 関東実修所少年部第11期スタッフ
打合せ会 婦人青少年センター | | |
| 7月14日 | 県野営大会指導者打合せ会 | | |
| | 前橋市婦人青少年センター | | |
| 7月20日 | 海外派遣員壮行会 | | |
| | 前橋市スワン食堂 | | |
| | 英国エセックスジヤンボリー派遣
員 渋谷 義夫氏 | | |
| 7月25日 | 第6回エセックス国際ジヤンボリー | | |
| 8月29日 | ー 英国 | | |
| 7月25日 | 昭和43年度年長隊富士野営第1回 | | |
| ～31日 | 山中野営場 | | |
| 7月27日 | 昭和43年度県連野営大会 | | |
| ～29日 | (第16回) 高山村大原キャンプ場 | | |
| 8月2日 | 年長隊富士野営第2回 | | |
| ～7日 | 山中野営場 | | |
| 8月15日 | 関東実修所少年部第11期スタッフ
会議 前橋市城東町公民館 | | |
| 8月20日 | 関東実修所少年部第11期 | | |
| ～25日 | 所長 石川 秀次 大原キャンプ場 | | |
| 9月1日 | 実修所反省会 前橋城東公民館 | | |
| 9月7日 | 第18回年少部、第43回年少部、指
導者講習会スタッフ会議・県コミ | | |
| | 会議 伊勢崎市桜井方 | | |
| 9月15日 | 県連理事会 前橋市群馬会館 | | |
| 9月22日 | 組織拡張委員会 県連本部 | | |
| 10月5日 | B・S・Sソング講習会 | | |
| ～6日 | 高崎市少林山 | | |
| 10月6日 | 年少部リーダー研修会 | | |
| | 高崎市少林山 | | |
| 10月13日 | 財政・野営行事・健康安全委員会
婦人青少年センター | | |
| 10月20日 | 指導者会議 前橋市妙安寺 | | |
| 11月10日 | 少年部指導者研修会 群馬会館 | | |
| 11月22日 | 第18回年少部指導養成講習会 | | |
| ～24日 | 第43回年少部 | | |
| | YMCA赤城キャンプ場 | | |
| | 年少部主任講師 金井 佐伝 | | |
| | 年少部主任講師 立川 弁祐 | | |
| | 受講者 年少部31名 少年部25名 | | |
| 11月23日 | 指導者養成委員会赤城キャンプ場 | | |
| 12月1日 | 少年部指導者研修会 群馬会館 | | |
| 12月1日 | 県連名誉会議 前橋城東町公民館 | | |
| 12月8日 | 県連理事会 前橋市群馬会館 | | |
| 12月15日 | 海外派遣スカウト壮行会 | | |
| | 群馬会館 | | |
| | 第5回ニュージーランドジヤンボ
リー派遣員 | | |
| | 指導者 井出 存 祐 | | |
| | 隊員 青木 雅 直 | | |
| | 高橋 恒 人 | | |
| | 関口 泰 之 | | |
| | 坪井 良 真 | | |
| 12月22日 | 第5回ニュージーランドジヤンボ
リー ニュージーランド | | |
| 1月14日 | | | |
| 12月29日 | 県連名誉会議 前橋城東公民館 | | |
| 昭和44年 | | | |
| 1月26日 | 育成会長・団委員長会議 | | |
| ～27日 | 年少隊長研究協議会 | | |
| | 新年顔合せ会 | | |
| | 伊香保福一旅館 | | |
| 2月9日 | 少年部指導者研修会 | | |
| | 婦人青少年センター | | |
| | 県連理事会 高崎カトリック教会 | | |
| 2月23日 | 第4回群馬県連盟B・P祭 | | |
| | 高崎市立第3中学校 | | |

3月2日 少年部指導者研修会
桐生市勤労青少年ホーム

3月6日 指導者講習会スタッフ会議 桐生

3月8日 関東ブロック会議 大宮市
～9日

3月21日 第19回年少部指導者講習会
～23日 第44回少年部 〃
県立北毛青年の家
年少部主任講師
少年部主任講師
受講者 年少部 8名 少年部10名

3月22日 R・S・T研修会 北毛青年の家
～23日 参加者 37

43年度県連役員

先 達	星 野 宏
連 盟 長	神 田 坤 六
副 連 盟 長	三 沢 祐 長
〃	佐 藤 春 重
理 事 長	勝 実 道
副 理 事 長	福 田 実
〃	小野里 和四郎
〃	佐 山 弥一郎
理 事	岩 田 正 男
〃	奥 寺 郁 三
〃	小野里 茂 作
〃	上 村 英 夫
〃	栗 原 博
〃	佐 野 金 作
〃	高 橋 正 信
〃	徳 永 十四男
〃	根 岸 努
〃	野 口 潔
〃	原 沢 益 己
〃	布 施 賢 一
〃	古 川 清 司
〃	堀 口 万 亀 蔵
〃	三 浦 幸 蔵
〃	宮 沢 一 典
〃	森 田 嘉 蔵
監 事	榎 原 政 治
〃	工 藤 友 吉

名誉会議員	後 藤 龍 堂
〃	高 橋 邦 一
〃	星 野 宏
〃	村 沢 信 夫
〃	吉 川 亀 吉
県コミッショナー	桜 井 玉 寿
副コミッショナー	金 井 佐 伝
〃	渋 木 羨 夫
〃	立 川 弁 祐
事務局長	小野里 和四郎
事務局次長(兼会計)	根 岸 努
事務局員	角 田 昌 弘

加盟登録

団 数	32
隊 数	60
団 委 員	188
リ ー ダ ー	220
ス カ ウ ト	1.366
<hr/>	
計	1.774

年少幹部訓練

昭和43.6.8～9 北毛青年の家



第16回全群馬野営大会

昭和43.7.27～29 大原キャンプ場



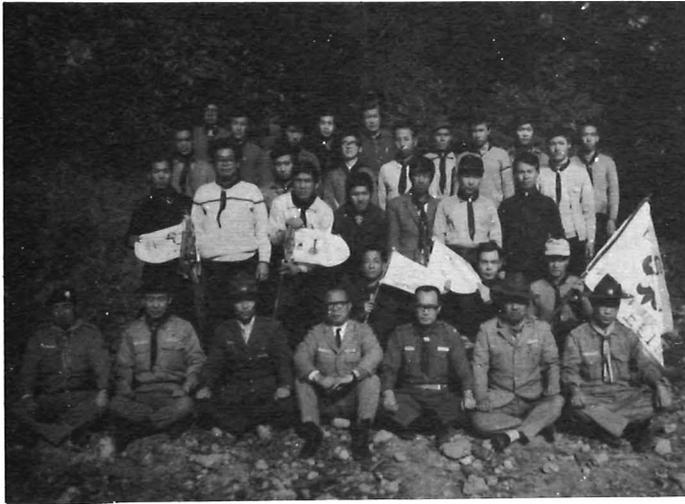
英国エセックスジャンボリー
昭和43. 7. 25～8. 29



関東実修所第11期
昭和43. 8. 20～25
高山村大原キャンプ場

第18回年少部
指導者養成講習会
昭和43. 11. 22～24
YMCA 赤城キャンプ場





第43回少年部
指導者養成講習会
昭和43. 11. 22~24
YMCA 赤城キャンプ場

第4回B・P祭
昭和43. 2. 23
高崎



R・S・T
昭和44. 3. 22~23
北毛青年の家

昭和44年度加盟登録名簿



加盟登録

団 数	36
隊 数	66
団 委 員	193
リーダ－	249
スカウト	1.518

計	1.960
---	-------

ボーイスカウト群馬連盟

※ () 内は初期登録承認日

☒ 太田第4団 (33.4.1)

団本部 太田市大字新島55の1下山常治方
 育成会長 尾上良二
 団委員長 下山常治
 副々 八木一朗 坂本久治
 団委員 金子一太郎 津久井義孝
 ◎年少隊
 隊長 小内安蔵
 D M 八木せつ
 D M補 有坂みさを 茂木るみ子
 D C 中田淳一
 隊員 川原均 鹿山雅彦
 江田元晴 松本貴弘
 石井亘 柳田孝治
 岡部達也 沼田正治
 富岡伸哉 矢口建二
 ◎少年隊
 隊長 新具正勝
 副長 篠原雅俊
 上級班長 八木豪
 隊員 野口一美 中田淳一
 富岡孝志 川原信一
 矢口精一 茂木伸夫
 森雪宏 赤羽光宏
 金子行男 渡辺均
 柴宮裕 神藤優
 岡慎一郎 渡辺浩一
 清水唯志 大谷寿彦
 飯島厚志 小林昌夫
 相場一郎 飯田泰弘
 金久一郎 富岡均
 ◎年長班
 班員 尾上和博 小内稔
 八木明 宮崎俊裕
 八木豪 竹俣寛一
 尾上幸良

☒ 太田第5団 (29.7.29)

団本部 太田市本町28-5古川清司方
 育成会長 橋本力
 団委員長 古川清司
 副々 金井英文

団委員 森田嘉蔵 中村富一
 渡辺一二三

◎年少隊
 隊長 奈良橋俊宏
 副長 青木勗盛
 D M補 川田由美子
 D C 小沢真一
 隊員 渡辺清隆 畑野勉
 中村素之 倉又大典
 川田茂 横堀宣之
 中村一夫 栗原一男
 堤順一 山崎利利
 清水明彦 稲垣透
 玉上章吾 柳田和雄
 平部文雄 小暮昌弘

◎少年隊
 隊長 茂木達男
 副長 天笠豊治
 上級班長 小沼国幹
 隊員 高瀬充 橋本貞介
 小沢隆則 吉村明一
 中村幸弘 沢田昭正
 矢沢裕之 中村和次
 武井朋己 飯島勝潔
 田中良雄 堀越
 ◎年長班
 班員 江部清隆 小沢真一
 小沼国幹 小川明史
 川崎普通 武井克己

☒ 桐生第1団 (44.4.1)

団本部 桐生市仲町2丁目5-6
 育成会長 大槻円次
 団委員長 佐山弥一郎
 副々 山洞甲 向田進
 団委員 藤田久 寺田喜八郎
 向田恒三
 ◎年少隊
 隊長 半田友秀
 副長 三浦雄三
 D M 石川知恵子 丸山礼子
 松井俊子

隊員 半田晃一 三浦雄幸
 近藤計介 森口唯一郎
 向田靖二 篠田一義
 丸山正忠 井上勝弘
 向野一彦 三島康芳
 高森口浩郎 丸山越恒
 野村史祐 山川通一
 市川敏行 堀越真彰
 柳沢雅弘 權田康吾
 石川清彦 栗原生井
 藤松

桐生第4団 (29.7.29)

団本部 桐生市仲町2-5-6 洪木羨夫方
 育成会長 増山茂
 団委員長 波木羨夫
 副々 荒木精一 持丸章
 団委員 金子要作 金子宗吉
 〃 小泉清吾 田中佳惠
 ◎ 少年 少隊 周東正治
 隊長 周能戸英夫
 副隊長 中村テル子
 D M 中山崎倫昌 周清加篠折鎗海柏丸中
 隊員 石川俊太郎 幸夫 宏勝 悟榮 峰博 武満士勝純 久弁正享正理真夫 千秀信陽利
 吉能 佐々木 廣田 深藤 年堂 須掘 常見 竹荻 藤大土 前田 荒金 真

桐生第2団 (25.6.9)

団本部 桐生市菱町黒川大字中里2351ノ1
 吉川亀吉方
 育成会長 島田敏三
 団委員長 吉川亀吉
 副々 広田秀夫 小林一好
 ◎ 少年 隊 青木孝之
 隊長 吉川幸男
 副隊長 早瀬良一
 隊付員 今西良晃 豊春一郎 之
 小山野井 壽一雅
 草野田 班
 角島長 島伊早
 ◎ 少年 班員 島伊早

◎ 少年 隊 長 須掘 常見 竹荻 藤大土 前田 荒金 真
 副隊長 堀 常 見 田 野 本 沢 原 中 木 子 下
 副長補 堀 常 見 田 野 本 沢 原 中 木 子 下
 上級班長 堀 常 見 田 野 本 沢 原 中 木 子 下
 隊付員 堀 常 見 田 野 本 沢 原 中 木 子 下

田村弘 蛭間章 夫
 館野誠 市今井達 也
 森島愛一郎 和田敦 嗣
 丹羽健 夫金井田俊 男
 合田詞 起朝倉宏 幸
 斉藤武

◎ 年 長 隊 明
 副 長 久保田 覚
 隊 員 倉林真 一
 則本山正 孝
 篠山春 雄
 伊田泰 哲
 関口敏 明
 堀越正二 郎
 関朝倉秀 章
 多胡班 和之
 年 高頭俊 一
 班 伊田佳 久

◎ 青 年 班 和之
 長 高頭俊 一
 班 伊田佳 久

☒ 桐生第10団 (38.12.9)
 団本部 桐生市広沢町1-2681
 株式会社三ツ葉電機製作所内
 育成会長 日野貞夫
 団委員長 野口潔
 副々 樹所久男 杉本辰司
 団委員 白石幸男 藤生栄三
 岡村広司 安池貞夫
 石田久幸 島泰
 菅又偉 雄

◎ 年 長 隊 三
 副 長 松井藤 米造
 隊 員 斉建部 正幸
 木村俊 博
 峰崎弘 行
 吉沢田 守志
 向田

◎ 青 年 隊 一
 長 宇田紀 夫
 副 長 新藤信 孝
 隊 員 付松井 三
 梅沢信 清
 丸山政 雄
 羽広藤 夫
 山藤正 夫
 星野 正
 斉藤 実
 鈴木木健 昭
 鹿木部幸 茂
 阿坂口野 一
 浅野佳 夫
 大畑 茂

☒ 桐生第7団 (25.4.18)
 団本部 桐生市元宿町聖眼寺内
 育成会長 後藤龍堂
 団委員長 全
 副々 重原進一 林快選

◎ 少 年 隊 勝正
 長 森塚正
 副 長 大塚登志二
 副長補 関塚英毅 林三郎
 隊 員 清水一 雄
 重原弘 己
 佐藤昭 三
 村井健 二
 小川良 雄

☒ 桐生第11団 (42.3.25)
 団本部 桐生市仲町2-5-6
 育成会長 小原義男
 団委員長 平方敏郎
 副々 石原忠頼 田代至宏
 団委員 中村春夫 加藤進康
 藤生喜重 周藤晴二
 ◎ 年 少 隊 一
 長 竹田賢 一
 副 長 天田宜 雄
 D M 竹田きみ子 萩原灌二
 山田博 子

並 木 真 二 横須賀 康 弘
 須 永 孝 之 森 田 篤
 小 坂 隆 二

班 員 渡 辺 憲 司 齊 藤 隆 男
 小 屋 雅 義 松 田 敏 行
 田 沼 進 阿 部 議 夫

㊦ 大間々第1団 (40.6.1)

団本部 大間々1330 奥寺郁三方
 育成会長 星 野 誠一郎
 団委員長 奥 寺 郁 三
 団委員 阿 部 信 城 持 箸 文 夫
 〃 湯 沢 勇一郎 近 藤 昭 次
 吉 田 穰 金 子 好 一

◎ 少年隊

隊長 中 沢 秀 夫
 副長 田 口 善 弘
 隊付 田 沼 進 志 前 田 隆
 隊員 土 肥 宏 志 前 田 隆
 渡 辺 彰 三 前 松 田 徹
 田 島 賢 充 高 松 俊 男
 近 藤 充 明 福 島 貞 則
 柴 崎 明 之 阿久津 英 彦
 金 子 好 之 涉 谷 和 郎
 奥 村 久 夫 牧 島 行 夫
 井 出 貞 雄 良 早 大 吉 沢 孝
 松 島 孝 之 大 吉 沢 孝

◎ 少年隊 (第2)

隊長 石 田 義 彦
 副長 朝 賀 盛 一
 隊付 阿 部 議 夫
 隊員 湯 沢 晃 夫 板 谷 肇
 牧 島 安 夫 星 野 孝 夫
 笠 間 隆 道 粕 川 富 男
 小 林 正 道 須 永 光 司
 阿由葉 敏 彦 須 永 豐
 松 島 広 明 塩 沢 久 光
 茂 木 泰 志 木 村 充 男
 佐々木 節 大 江 弘 丈
 桑 原 弘 明 長 沢 孝 之
 早 川 純 生 班

◎ 少年隊

隊長 小 倉 勝

㊦ 伊勢崎第1団 (24.8.3)

団本部 伊勢崎市緑町4-16栗原 博方
 育成会長 久保田 茂一郎
 団委員長 栗 原 博
 副〃 高 橋 徳 江 江 原 伝 次
 団委員 久保田 円 次 川 島 国 造
 八 田 要 繩 茂 雄
 町 田 都 乎

◎ 少年隊

隊長 稲 葉 信 行
 副長補 山 本 武 栗 原 務
 上級班長 繩 嘉津記
 隊員 町 田 守 也 三井田 修 一
 鈴木 健 三 吉 山 和 寿
 引 田 有 史 保 坂 義 定
 矢 内 清 隆 内 田 育 夫
 小 林 淳 見 角 永 正
 川 島 清 介 中 野 哲 也
 町 田 圭 栗 原 英 之
 神 沢 清 文 清 水 政 弘
 岡 田 登 志 光 鈴 木 淳 詞
 大 熊 又 慈 金 井 秀 之
 栗 原 広 正 樹 南 佐 藤 弘 次
 栗 原 英 計 介 川 島 清 人
 光 山 佳 里
 白 石 見 禎
 小 林 見 禎

㊦ 伊勢崎第4団 (29.4.1)

団本部 伊勢崎市中央町24-10
 育成会長 牛久保 三 郎
 団委員長 推 名 千 寿 夫
 副〃 松 本 敏 夫
 団委員 牛久保 三 郎 山 本 清 次 郎
 〃 前 原 玄 作

◎ 少年隊
 隊長 牛久保 益 男
 副隊長 小林 旭
 副長補 松本 茲 前原 恒 春
 上級班長 山本 昭 良
 隊付 前原 理 一 鈴木 久 彦
 隊員 前鳥 毛 昭 正 山田 耕 作
 石 関 輝 男 山田 征 寿
 鳥 毛 正 毅 木 村 貞 一
 田 辺 清 三 郎 竹 俣 敏 雄
 柳 沢 裕 之 次 飯 島 準 元
 竹 俣 英 次 土 屋 憲 一

◎ 年長班
 班員 鈴木 久 彦 茂 木 俊 雄
 山本 昭 良 前原 理 一

◎ 青年班
 班員 鈴木 一 久 牛久保 哲 二
 前田 光 雄 松 本 光 男

☒ 伊勢崎第6団 (25.9.14)

団本部 伊勢崎市馬見塚町1339桜井玉寿方
 育成会長 茂 木 義 明
 団委員長 榎 原 政 治
 副々 桜 井 玉 寿
 団委員 茂 木 義 明 子 五十嵐 俊 夫
 香 村 哲 子 桜 井 米 子
 板 垣 泰 藏 小 此 木 常 子

◎ 少年隊
 隊長 榎 原 哲 二
 副隊長 原 邦 雄
 隊員 新 木 兼 好 高 岸 智 和
 劍 持 豐 板 垣 宏 和
 大 島 博 新 木 幹 彦
 高 柳 倫 夫 鈴 高 柳 秋 明
 茂 大 竹 健 章 司 也
 松 村 哲 英 小 此 木 英 雄

◎ 年長隊
 隊長 桜 井 惠 寿
 副隊長 松 村 勝 一
 隊員 須 賀 久 夫 榎 原 一 治
 茂 木 利 明 茂 木 場 文
 茂 木 富 夫 桜 場 一 典
 串 田 清 人 桜 場 孝 幸
 榎 原 章 清 五 十 嵐 清 隆
 五 十 嵐 清 三 高 柳 芳 男
 榎 原 浜 三 榎 原 茂 樹

☒ 前橋第1団 (24.8.3)

団本部 前橋市大手町2-14-6
 育成会長 コナラド神父
 団委員長 徳 永 十四男
 副々 高 橋 亜 夫 坂 本 栄 治
 団委員 根 岸 明 夫 大 国 勉 一 郎
 新 井 和 夫 阿 部 司 博
 木 暮 彰 田 島 美 代 子
 高 桑 專 助
 松 浦 俊 枝

◎ 少年隊
 隊長 星 野 忠 夫
 副隊長 真 塩 浅 吉
 D M 佐々木 法 子 平 野 幸 子
 小 沢 榮 子 高 飯 島 節 子
 金 津 井 玲 子 天 野 由 美 子
 津 田 美 江 子
 隊員 齊 藤 完 治 佐 藤 泰 彦
 小 野 重 浩 田 中 敏 夫
 古 井 上 村 俊 忠 矢 田 川 一 郎
 木 松 浦 哲 夫 中 土 野 一 史
 市 志 鶴 一 敏 後 原 奈 高 田
 井 上 延 洋 貴 武 田 中
 星 堀 川

◎ 第 1 隊 隊長 星石八 副隊長 霞村今 補副隊長 桜井本 班長 高原 付員 高松富五牛高伴清大中高 2 隊長 小深布高 副隊長 齊豐小富 補副隊長 小富 班長 中符中高八羽加市 隊長 野倉木少 副隊長 田井 補副隊長 井本 班長 津山 付員 高松富五牛高伴清大中高 2 隊長 小深布高 副隊長 齊豐小富 補副隊長 小富 班長 中符中高八羽加市 隊長 邦浩一年 副隊長 田井 補副隊長 井本 班長 津山 付員 高松富五牛高伴清大中高 2 隊長 小深布高 副隊長 齊豐小富 補副隊長 小富 班長 中符中高八羽加市 隊長 彦一夫 副隊長 田井 補副隊長 井本 班長 津山 付員 高松富五牛高伴清大中高 2 隊長 小深布高 副隊長 齊豐小富 補副隊長 小富 班長 中符中高八羽加市 隊長 中 島 信 弘 德 永 橋 本 千 田 文 昭 打 越 田 正 綿 野 立 隆 尚 信 正 健 賢 石 井 實 小 林 真 士 郎 阿 部 昌 昌 一 夫 植 野 原 昭 義 寺 小 柳 井 倉 川 暮 井 永 中 木 永

◎ 年 長 班 隊 長 霞 高 郡 松 早 班 員 橋 司 山 川 惠 勝 竜 二 薰 美 雄 亮 小 高 荒 田 沢 橋 井 島 修 秀 邦 正 次 文 夫 孝

☒ 前橋第5団 (38.5.12)

団本部 前橋市古市町狸塚
 育成会長 大 沢 正 久
 団委員長 上 村 英 夫
 副 小野里 和四郎
 団委員 富 沢 正 雄 桑 原 昭 治
 〃 園 部 忠 三
 ◎ 年 少 隊 長 角 田 昌 弘
 D M 神 尾 喜 美 子 井 瀬 美 代 子
 D M 高 島 美 幸 栗 原 栄
 隊 員 鈴 木 了 道 美 沢 克 文
 神 山 隆 暢 洋 佐々木 豊
 吉 沢 木 祐 健 太郎 岡 田 修 司
 ◎ 少 年 隊 長 中 島 三 博
 副 長 大 沢 健 夫 小野里 清 治
 補 長 富 沢 準 義 角 田 克 也
 隊 員 高 橋 純 一 吉 田 勝 弘
 高 上 村 英 一 佐 藤 勝 美
 柴 崎 津 田 敦 修 長 成 岡 田 修 一
 ◎ 年 長 隊 長 幸 政 生 澄 直 郎 行 夫
 副 長 古 宮 青 阿 福 前 金 井 野 井 竜 一 勇 桑 猪 園 山 今 原 岡 部 崎 井 健 介

◎ 青年班
 班員 宮下政澄 大沢健夫
 小野里清治 富沢準治
 南波正夫

小泉秀行 大森和幸
 中島裕 阿久沢弘
 石関修 中島進

☒ 前橋第6団 (44.8.11)

団本部 前橋市田口町614青木方
 育成会長 町田一三
 団委員長 青木次男
 副々 中島正一 水谷信一
 団委員 沢野武夫 石田重夫
 々 佐藤重房 池田安次
 々 井上浦之助
 ◎ 少年
 隊長 関口志雄
 副長 石田さかえ
 D M 松村富子 横塚昌子
 々 大谷文子
 D D 永井彰 今井和夫
 隊員 有間弥一郎 沢野孝雄
 松村秀敏 金子昌弘
 井上幸三 川田達也
 藤田誠正 横塚俊弘
 町田徳之助 小野桂一
 石田博之 小沢敬二
 佐藤重幸 萩田孝雄
 柴崎仁 大谷昌也
 竹渊泉 間仁田明光
 堀口泰彦 小峯重光
 ◎ 少年
 隊長 阿佐美昭
 副長 都丸勝義
 隊付 高橋恒人
 上級班長 金井秀人
 隊員 門井徹典
 山崎重成
 九条智隆
 金子藤明
 柳田宏隆
 松本貴俊
 藤野慎一
 今井林逸人
 小井上義治
 永井雅彦

☒ 前橋第7団 (44.8.11)

団本部 前橋市千代田町1丁目11-11柳田方
 育成会長 杉村清一
 団委員長 柳田栄一
 副々 山崎孝一
 団委員 恩田昭三 長谷川武
 々 田村政治 小林三四郎
 ◎ 少年
 隊長 高橋和男
 副長 高三輪妙子
 DM補 山崎久美子 今井和子
 々 古川典子
 D D 馬場威 浅野滋海
 々 小島正保
 隊員 小林勉 恩田禎
 小島祐一 小林健
 大原吉博 古川真樹
 浅野拓哉 馬場進
 持田浩信 馬場誠
 田村秀樹 門井隆介
 越智謙彦 田中雅彦
 ◎ 少年
 隊長 中島優美
 副長 金井正美
 上級班長 君島克一
 隊員 山崎弘一 小林幹雄
 長谷川健一 小井上敬一
 沢野弘己 三輪智一
 壁健太郎 今井智規
 杉村智司 宮内淳智
 川口竹男 飯野淳二
 二宮立志 林高橋世
 高橋郁人 高橋義之

☒ 高崎第1団 (36.9.1)

団本部 高崎市末広町11
 育成会長 茂原博
 団委員長 茂原博
 副々 佐藤春重 秋山賢二
 団委員 中曾根登 川辺喜三郎
 ◎ 少年隊
 隊長 田中一雄
 副長 堀内一定 義幸 田中秀一
 副長補 梅山正義 秀章 本間錦一
 上級班長 堀内義秀 隆 相川幸一
 隊員 秋山口昌啓 鈴木根川良行
 茂原隆 中曾根川井之雄
 宮下光男 長柄井知敏
 牧克爾 芳之裕
 矢島守博 政敏
 村田政敏 伸晃
 川口部原

☒ 高崎第7団 (27.3.7)

団本部 高崎市栄町19金井方
 育成会長 中島伴治
 団委員長 小山彦一
 団委員 中島伴治 藤川義男
 矢川清志 貴船井佐 佐 薫伝
 ◎ 少年隊
 隊長 高橋彰
 副長 佐藤陸 大 上原明 弘
 副長補 木内功 佐 矢川スエ子
 D M 薄井マチ 新井栄子
 〃 佐藤和久 枝子
 D M補 岡田郁子 上地敏子
 〃 境めぐみ 吉市悦子
 伊藤啓子 中島順子
 木蘭嘉枝

隊員 阿藤清美 狩野昭彦
 神田米英 久山貴星 伊柏大岡古尾岡金草松岡柄竹中町
 山崎船島藤木山田市崎野井野倉田沢腰金田
 明聡亮 浩 一 薰 彦 博 隆 雄 行 彦 之 順 宏 仁 二 仁 秀 成
 野藤杉島達藤中野沢川船久津田中沢田田
 小前安佐山富小中塩貴阿池山柄平町中
 和敏哲泰正泰孝 信哲修干徹一
 和敏哲泰正泰孝 信哲修干徹一
 和敏哲泰正泰孝 信哲修干徹一

◎ 少年隊
 隊長 中島正裕 義信
 副長 佐藤藤輝 久志
 副長補 金井田仁 志
 上級班長 稲田健一
 隊員 深沢光男 荻原三津夫
 小中山正秀 滝島哲雄
 小野篤義 野口公修
 宮原義和 春川宣彦
 島野塚博之 岡田宣光
 飯塚川欣紀 根岸行一
 春西島政行 新野善富
 藤川譜士 増村厚
 丹下俊哲 土屋正
 田口廣 田野康
 矢川直 佐藤政
 五十嵐紀 行

◎ 年 長 隊
 隊長 長井 収
 副長 薄井 昇
 上級班長 麻田 裕
 隊員 高橋 幸夫 鳥居 芳弘
 薄井 敏之 篠崎 晴朗
 横山 敏彦 長岡 健一
 舛方 賢一 神田 和俊
 金井 務雄 高階 邦夫
 織田 秀雄

◎ 青 年 隊
 隊長 麻田 照男
 副隊長 飯塚 正登
 隊付員 中島 正義
 飯塚 普久
 堀越 泰隆
 長井 賀正
 須賀 寛
 長井 直樹
 中沢 政敏
 神田 敏

☒ 高崎第8団 (44.5.20)

団本部 高崎市下小埜町1468ノ1根岸方
 育成会長 萩原 勇
 団委員長 根岸 努
 副々 萩原 勇
 団委員 森田 泰子 高野 朝子
 ◎ 年 少 隊
 隊長 伊藤 四郎
 副長 大山 利定
 副長補 大平 塚等
 D M 大山 敏子 桜井 ろく
 D D 立木 儀雄 三木 健司
 隊員 伊藤 敦博 高松 茂樹
 大江 木仁 森立 高松 茂樹
 立木 伸一 立石 芳幸
 西村 友宏

☒ 高崎第11団 (28.12.4)

団本部 高崎市高松町16高崎カトリック教会内
 育成会長 Reu・ジュニパー
 団委員長 中山 利男
 副々 布施 賢一 桜井 途二郎
 団委員 三井田 美彦 中村 順一
 宮下 裕 浅沼 邦夫

◎ 年 少 隊
 隊長 齊藤 清治
 副々 齊藤 澄江
 D M 飯野 智江 齊藤 洋子
 杉本 朋也
 D D 町田 邦男
 隊員 宮下 裕二郎 清水 陽二
 杉山 正則 紫藤 伸
 中島 雅仁 山佐 正人
 後閑 裕之 吉本 明弘
 吉田 稔 片野 秀明
 茂木 保生 片山 正徳
 尾崎 雅生 橋本 正道
 飯野 俊司 石井 昌和
 岸 東彦 紋谷 久仁彦
 高橋 亭哲 福岡 聡
 小沢 克之 伊豆 正弥
 荻原 哲郎 宮田 日出男
 大崎 守一 浅野 泰義
 中藤 浩和 金山 政一
 藤早 野原 彦 森 哲二
 上原 久夫 武井 庄三
 1 少年隊 武木 村房 森 哲二
 隊長 武井 村房 副長 三井田 英雄 副長補員 小島 田厚 隊員 小島 高橋 英彦 折宮 下英一 海老原 大正 佐々木 沢利 沼金 井宏

齊藤 洋子
 清水 陽二
 紫藤 伸
 山佐 正人
 吉本 明弘
 片野 秀明
 片山 正徳
 橋本 正道
 石井 昌和
 紋谷 久仁彦
 福岡 聡
 伊豆 正弥
 宮田 日出男
 浅野 泰義
 金山 政一
 森 哲二
 武井 庄三
 三井田 英雄
 小島 田厚
 小島 高橋 英彦
 折宮 下英一
 海老原 大正
 佐々木 沢利
 沼金 井宏

隊員 西山好雄 園原洋二
 岡田哲治 喜美候部正令
 内藤謙一 洪井孝一
 黒沢勉 真木武志
 中里進 石原勝也
 鬼形文久 岡部知浩
 ◎年長班員 内藤純一 跡部博士
 西山形茂 鬼形茂康

☒ 高崎第17団 (40.7.1)

団本部 高崎市下滝町19番地慈眼寺
 育成会長 井田弥太郎
 団委員長 江原太郎
 副々 江原平治 吉井良雄
 団委員 井田弥太郎 丸茂島子
 ◎年少隊
 隊長 江原功
 副長 田口幸男
 DM 吉井千鶴子 瀬間米子
 中山 中山フジ枝
 DD 江原恭比古
 DM補 田口節子 田口祝子
 隊員 江原源博 井形昌弘
 勅使川原光 天田久雄
 山崎広光 登丸浩明
 山田巖 飯塚秀徳
 石原孝敏 佐藤理徳
 天田尚男 福田猛弘
 井田浩 関口久樹
 井田信夫 羽鳥博誠
 松本富美男 八木道徳
 小林一彦 倉林平徳
 小山田昌一 松村亨香
 田口尚宏 天田正行
 椎名肇 山田正和
 小林健一 山田正和
 江原篤男 佐藤和孝

◎少年隊
 隊長 天田尚二郎
 副長 江原敏男
 隊員 天田晴元 天田育男
 小林孝則 内山寿峰
 小江原誠 串田博幸
 増田弘信 山田光哉
 反町孝明 江原政伸
 伊藤正明 菲沢政隆
 塚本美喜治 反町田洋
 石原享晃 山多胡修
 八木邦彦 工藤賢一
 清水伸一 大宮正貴
 江加藤義昭 千木良勝
 関丸茂義二 秋山和己
 天田沢幸夫 樽木恭壽
 長田隊 長田設郎
 天吉井均史 宮下隆行
 江原正治 江原宏樹
 天田孝治 井出康
 田口友秋 天田勉
 江原研治 丸茂一
 西原明宏 義

◎年
 隊長 天田設郎
 隊員 天吉井均史 宮下隆行
 江原正治 江原宏樹
 天田孝治 井出康
 田口友秋 天田勉
 江原研治 丸茂一
 西原明宏 義

☒ 高崎第18団 (40.10.25)

団本部 高崎市高関町356 岩田方
 育成会長 高木寅治
 団委員長 岩田正夫
 副々 中山良治
 団委員 曾根康之 山田晃司
 高木寅治 湯本光夫
 ◎第1年少隊
 隊長 山川巖
 副長 佐藤勇
 DM補 原名ゆみ子

隊員	山本一範	小笠原	淳	板倉茂幸	金井治男
	金井一浩	岩田	泰	田辺文由	大塚康二
	小林肇	小川秀樹		林俊明	吉沢真一
	滝沢浩孝	横山雅彦		佐藤聖城	
	金井強博	小林幸伸			
	丸茂博	小笠原ひさし			
	岡本和久	尾谷裕司			
	佐藤真澄	小笠原利之貴			
	永井昭仁	東海林			
	横田しげる	近藤えいぞう			
	佐藤真一	金井中伸			
	植栗秀夫	安田島敦			
	田村正樹	湯本			
	植松				
◎ 第2年少隊	吉井利作				
隊長	石川啓子				
D M	須郷弘	木村勉			
隊員	渋谷悦功	沼田宏也			
	五十嵐康幸	北森昌三郎			
	小笠原尚司	岡本邦彦			
	安藤信康	原田浩志			
	永井正孝	山田利真			
	中沢幸一	甘地幸一			
	筑塩谷明彦	菊塚紀幸			
	村田正浩	永城田和康			
	角田武勝	清水上芳章			
	中沢丸隆				
	渡丸				
◎ 少年隊	富田規矩伊				
隊長	谷口喜久雄	富田憲一			
副隊長	湯本宏武	高石井久仁			
隊員	土屋裕二	岩田敏夫			
	曾根弘一	富横田光太郎			
	田口健男	横田英一			
	川山豪樹	野石川政宏			
	小笠原俊武	野石吉紫			
	山田直幸				
	井野山光文				
	平山				

				高崎第19団 (41.6.1)	
				団本部	高崎市上並榎町1300高崎経大内
				育成会長	岩田正男
				団委員長	大谷正義
				団委員	佐藤春重 吉田良八
				◎ 青年隊	
				隊長	中川幸吉郎
				隊付	富田憲一 中田耕一
				隊員	早田賢吉 田村定夫
					岡田徹三 小林喜代治
					宮崎省文 坂本英樹
					吉村克文 檜原正義
					加藤哲久 井上和彦

				高崎第20団 (44.6.12)	
				団本部	高崎市岩押町立正側成会高崎教会
				育成会長	堀田彰吾
				団委員長	吉田良八
				副々	武井宏修
				団委員	田中琴二 松原良和
				◎ 少年隊	
				隊長	徳田久彦
				副隊長	平賀常郎
				隊員	田中修平 松原利光
					橋本正己 富田弘高
					万本治弘 新井敏夫
					橋本重己 田端敏安
					津久井健治 和津久井
					万治克之

☒ 藤岡第1団 (25.4.18)

団本部 藤岡市七丁目勝方
 育成会長 中島泰
 団委員長 春山武
 副々 勝実 道繁
 団委員 松井 繁春 山 信太郎
 小林 実

◎ 少年隊

隊長 中作治
 副長 渡辺隆 飯島敏弘
 副長補 野中正男 小林高平
 隊付 中里喜好 新井幸雄 次正義
 隊員 野沢丈久 山崎将和 淳一
 森川昭秀 野原田久
 神田健二 奥原茂
 高橋幸雄 廣実
 横堀川崎

☒ 安中第1団 (37.5.31)

団本部 安中市安中2602立川方
 育成会長 柳沢潔
 団委員長 久保田秀夫
 副々 立川辨裕 柳沢重雄
 団委員 黛恒雄 青柳重雄

◎ 少年隊

隊長 立川智教 立川秀子 子浩
 D M 小池章子 立川秀子 子浩
 隊員 小坂橋敏久 立川秀子 子浩
 萩原尚久 須藤井崇 厚之彦
 茂木信二 浅大竹島木
 奥原山雅之 浩
 永田田浩

◎ 少年隊

隊長 大塚敏三 三三通
 副長補 久保田洋三 伊藤 実
 上級班長 立川裕通

隊員 久保庭光治 田村升里
 須藤金一 阿高博道
 神戸信一 深谷治道
 上原健一 小坂橋信雄
 小島育夫 黛栄治亮
 宮崎享之 辻岡
 出口裕之

☒ 安中第2団 (38.9.5)

団本部 安中市磯部一丁目13番6号高橋方
 育成会長 荻原孝元
 団委員長 高橋正信
 副々 岡田幹雄 犬牛幸子
 団委員 安立泰子 荻野孝元

◎ 少年隊

隊長 安立睦夫 子
 副長 千坂志保 子
 D M 勝洋子 雄
 隊員 小坂橋孝雄 赤荻 透
 内藤俊昭 瀬下克利
 田村憲一 佐藤武志
 宇佐美和宏 小野井克彦
 倉林高宏 今安立純
 横山和信 野尻和宏
 金井知則 顯 桜井成昭
 浅井藤登 宏 塚越元司
 佐藤野宏 清水和宏 須藤昌彦
 荻野 水塚清昌 柳 沢信幸
 清大倉林昌

◎ 少年隊

隊長 金井博信 敦一 千坂 哲
 副長 大降正 高宮 橋崎 史郎
 隊付 佐藤基彦 中村 陽一
 隊員 安部孝久 金井野 石 井 修

大島尚哉 岡田典久
松本蔵好 清水教雄
小林弘 山田泰三
相賀洋 降幡雄三
須藤康弘 浅井俊哉
柳沢昌弘 安立清史
横山芳典 佐藤孝
坂本千利

◎ 年 長 班
隊長 大和 敦
隊員 降幡 正 一 千 坂 哲
佐藤 渡

☒ 安中第3団 (38.10.7)

団本部 安中市板鼻1912井出方
育成会長 長戸正養
団委員長 河野口雄三
副々 金井美代十
団委員 宮沢芳雄 細野正太郎
佐藤良太郎 白石五十二
三沢みや 岡部広八
宮川佳男
◎ 年 少 隊
隊長 阿部正恵
DM補 三沢ヒサ子 三沢英子
神成澄江
隊員 金井浦一 広瀬孝久
西島徹 磯宏幸
鈴木正志 内田明
長戸康弘 今井瑞穂
細野安司 白石徹

◎ 少年 隊
隊長 井出存祐
副長 三沢文一
上級班長 宮川薫
隊付 宮沢清 吉田守
隊員 岡部由起夫 広岡茂
高橋秀次 細谷正
白石祐 佐藤敦
三沢常紀 松本武

山田雅己 大竹将尋
小林順二 清水泉
◎ 年 長 班
班員 宮川薫 宮沢清
吉田守 立川裕通

☒ 渋川第1団 (42.6.24)

団本部 渋川市辰己町1720カトリック教会内
育成会長 ルイス・ジョイス神父
団委員長 バルトロメオ神父
副々 馬場新吉 一場光治
◎ 年 少 隊
隊長 青木正
副長 馬場新吉
DM 齊藤良子
隊員 馬場樹海 関口玄久
野中真司 岩田雅彦
関口真実 横手浩
真下祐史 関口仁
真板毅 堀込良道
木村靖 後藤昌弘
高島康裕 中沢正和
藤井一彦 酒井雅典

☒ 伊香保第1団 (25.2.21)

団本部 北群馬郡伊香保町役場内
育成会長 横内甲子吉
団委員長 福田実
副々 高橋弘
団委員 富永精司 高橋正己
渡辺国三 田部井悟郎
半田博 野口徳治
倉林誠一郎
◎ 年 少 隊
隊長 真淵敏之
DM 平井志津子 田中喜久子
茂田英美子 野口憲子

☒ 水上第1団 (26.9.19)

団本部 利根郡水上湯原64水上町役場
 育成会長 小野里 茂 作
 団委員長 品 田 元 雄
 副 〃 阿 部 茂 阿 部 博

◎ 少年 隊

隊長 村上 広 志
 副長 田村 俊 毅 村 沢 信 夫
 副長補 阿 部 等 池 田 勇 夫
 隊 員 品 田 賢 一 山 口 修 嗣
 柳 健 劍 持 恒 夫
 市 川 一 博 菊 水 節 幸
 阿 部 正 司 須 藤 賢 一
 大 沢 英 男 深 田 栄 広 明
 須 藤 伸 二 石 井 良 明

◎ 年 長 班

班 員 阿 部 正 毛 涯 正 澄
 牧 野 正 知 須 藤 温
 酒 井 幸 一 郎 鈴 木 康 文
 小 林 正 雄

☒ 富岡第1団 (41.6.18)

団本部 富岡市富岡宮本町群馬銀行富岡支店内
 育成会長 須 藤 真 作
 団委員長 堀 口 万 亀 蔵
 副 〃 高 橋 芳 平 江 原 隆 夫
 団委員 荒 谷 恒 喜 神 宮 正 道

◎ 少年 隊

隊長 木 村 喜 良
 副長 金 田 善 弘
 隊 員 三 河 秀 敏 小 竹 茂 夫
 高 橋 総 一 郎 遠 間 秀 明
 齊 藤 祐 一 青 木 洋 一
 荒 谷 田 村 照 明
 秋 山 雅 仁 今 井 秀 典
 掛 川 祐 司 伴 洋 二

ボーイスカウト案内



ち か い

入隊に際してスカウトは次の“ちかい”をする。(規約第4条) 初めて指導者として登録する者は、第4条の“ちかい”をするか再確認する(規約第7条)

私は名誉にかけて次の三条の実行を誓います。

- 一、神(仏)と国とに誠を尽し“おきて”を守ります。
- 一、いつも他の人々を援けます。
- 一、体を強くし、心をすこやかに、徳を養います。

“おきて”(規約第9条)但し主文だけ

1. スカウトは、誠実である
2. スカウトは、忠節をつくす
3. スカウトは、人の力になる
4. スカウトは、友誼に厚い
5. スカウトは、礼儀正しい
6. スカウトは、親切である
7. スカウトは、従順である
8. スカウトは、快活である
9. スカウトは、質素である
10. スカウトは、勇敢である
11. スカウトは、純潔である
12. スカウトは、つつしみ深い

やくそく(規約第4条 カブスカウトだけのもの)入隊に際しカブスカウトは次の“やくそく”をする。

僕は、まじめにしっかりやりますカブ隊の“さだめ”を守ります。

カブ隊の“さだめ”(規約第10条)

1. カブスカウトは、すなおであります。
2. カブスカウトは、自分のことを自分でします。
3. カブスカウトは、たがいにたすけあいます。
4. カブスカウトは、幼いものをいたわります。
5. カブスカウトは、進んでよいことをします。

ボーイスカウト日本連盟

ボーイスカウト運動の目的

これは、小学校2年生の後半から大学卒業の年齢にわたる青少年男子を対象とする一連の青少年教育なのです。そのようなものは他にもいろいろありますが、これはイギリスのベーデン・パウエル卿の考えた人間形成の方式にその理念と方法を求めたものでベーデン・パウエル卿は日本の武士道の精神を重んぜられております。

その目的は、公民（または市民）として、家庭においても学校においても社会においても職域においてもりっぱな男性、かつ国民としても、また国際人としても世界に通用する男をつくることにあります。

一言にしていうならば、現在および将来にかけての、信頼にあたいする善良にして有為な“男らしい男”をつくることを狙っています。

ベーデン・パウエル卿は、これとやらんで“女らしい女づくり”としてガールガイド（またはガールスカウト）の訓練法を創案しました。

ですからこれは社会教育としては、非常にスケールの大きいもので、いわば国際的な人づくり、ということになります。

それは、人道主義（ヒューマニズム）に従った国際愛の教育であり、平和友好運動ということになります。

その対象の年齢からみて、これは次代をになう人間の教育ということにもなりますので、そのことはその両親たちにもご参加をねがわねばなりません。また、両親でなくても、強く一般社会のご協力が得られなくては達成できない大きな運動なのです。

今日この教育は世界91カ国に普及して現在1050万人を越えるメンバーを数えます。新らしい国家が毎年ふえつつありますので、この数は、まだふえます。

それらの国々の成人たちは、いずれもこの運動に参加し、協力しています。そう考えますと、これは世界的な成人の協力運動ということになり、スケールはいちだんと大きくなります。

われわれは、皆さまのお子さまたちをボーイスカウト、ガールスカウトになるようおすすめいただくのはもちろんのこと、皆さまご自身もこの運動にご参加くださるよう、また皆さまのご友人や、ご親戚の方々にも、おすすめいただいて、青少年のすべてが、この運動によって現在および将来の幸福を見出され、そのまたお子さま（あなた方にとってはお孫さま）そしてそのまた子孫……というように末長く、世界におよぶ人類の幸福へと、すすむよう願ってやまないのです。

対象の年齢にかんがみて、その教育訓練の鍵を次の4つにしぼっています。

性格づくり
健康づくり
技能づくり
奉仕の実践

性格づくり

人間の性格は、ひっきりょう大脳皮質のうちの古い皮質のはたらきをコントロールすること、そして人間としてのすぐれた新皮質を発達させる性格づくりで「人格」が形成されるといわれます。

そのために、大切なことは自力による判断の学習です。それは、するどい

観察力をつけ、それからくる推理力が基本となります。そこでスカウト教育では、まず感覚の訓練を先行させます。

感覚（センス）の訓練は、主として五官のはたらきをテストするいろいろのゲームでします。特にそれを野外ですることを強調します。

ここで「スカウト」という語のことを申しあげねばなりません。これは元来「斥候」ということです。斥候とい

いますと軍用語を連想します。それでスカウト教育は軍事予備訓練だと早合点されたこともあります。平和の斥候もあるのです。それは、つまり先駆者であり探険家、冒険家、発見家たち、みなスカウトなのです。

その少年版がボーイスカウトであつて、彼らはハイキングによって未知の山野を探険し、キャンプすることによって「探険家あそび」をします。いわば「パイオニアごっこ」です。

この戸外活動は、大自然が示しているいろいろな教え（意味）を感得するという大きな教育的な価値をもちます。大自然は文字でない、いろいろの暗示（サイン）で、バイブルを書いているといわれます。それを解説するのは、スカウトのつとめなのですから、彼らは動植物、星座、気象の観察がすきであり、それを通して宇宙の神秘にふれ、その驚異と美にうたれ、そこに絶対者（神）との関連に気づくのです。このことは、年齢の上のスカウトの性格形成に結びつきます。彼は宗教への信仰を考え、信仰への接点にふれるわけで、そこにたつてセンスの訓練は発展してモラルの教育に伸びるのです。

3カ条の「ちかい」と12カ条の「おきて」はスカウトとしてその「あるべきところ」を示し、それに「あらしめる」行動を明らかにしています。「ちかい」の第1は「神または仏に誠をつくし」とありますが、それは「絶対者

との関連において人間は人間である」という哲理に従うものです。

健康づくり

この年齢層の者は身体の発育の盛んな時期であり、その土台ができる時代です。そのことを見のがすことはできません。「ちかい」の第3にも「体を強くし……」とあります。

健康についての教育は家庭教育でも学校教育でもされますが、スカウト教育はそれらをさらに自覚的に補強します。たとえば五官の訓練において感覚器官を鋭敏にさせるというようなことは他にあまりその例がないでしょう。

これは「心のはたらき」つまり心理機能に結びつくものであります。また呼吸運動をするとき、神の空気を吸うということによって神に感謝の心をおこさせ、神のみむねにそよよなりっぱな体を作るのだ、と自覚させるような体育は、他にその例がないように思われます。

いたずらに勝負に勝つためとか、人間の可能性を高める記録をあげるためとかに傾きやすいスポーツとちがうのです。ある程度は対抗的ゲームをするけれども、それは体育だけを狙っているのではなく、チーム活動と個々の体力の特長を高めるための鑑別の心要からです。

野外活動は、おそらく総合的体育といえましょう。新鮮な空気、気温の変化、天候のかわり方などによって適応力を養います。これは校庭や競技場やプールを「場」とする体育より自然であり、広大です。

技能づくり

人間の生活に技能は不可欠なもので、その技能の中には少年時代にしておかなかつたら手おくれになる技能がたくさんあります。

また「ちかい」の第2の「いつも他の人々を援けます」という自己宣言、

「おきて」第3「スカウトは人の力になる」という行動律——これは、技能が身につけていないならばできないのです。次にかかげる奉仕活動も技能を要します。

もうひとつ、これは可能性の発見に役立ちます。「ぼくにもできる」ということは自信をつけます。「こんなことも、ぼくはできるんだ」という発見、これは潜在していた自分の力の発見です。これによって自分は、どこまでのびるのか自分にもわからない。

よし、やってみよう、という勇気が出ます。そうなれば青少年期における大敵——劣等感——というものは消えてしまう。希望が出てくる。すべては力だめしだ、ということになります。

このようにして、身につけた技能が役立って他の人々を幸福にすることができたときのよろこびは、スカウトらしいよろこびなのです。

スカウトたちは、さらにまた、技能章という課程にいどみます。これは職業選択の一助にもなりますが、この課程の真の狙いは可能性の発見にあります。

ベーデン・パウエルは「することによって学ぶ」といいました。(Learning by Doing) これは人格は筋肉を通して作られる、ということばと似ています。ジャン・ジャック・ルソーの言にもこの種のことばがあります。

奉仕を通しての実践

「人のお世話にならぬよう

人のお世話はするように

そしてむくいを求めぬよう」

と、日本連盟初代の総長後藤新平は申されました。これが奉仕ということの本旨であって、スカウト教育の理念です。

今日、サービス(奉仕)ということばは濫用され、かつ誤用されているよ

うです。元来は神仏に仕える純真な心の発露で、礼拝(サービス)と同じ語なのです。ですから、スカウトは信仰心をもつよう奨励されています。けれどもスカウト教育は、それ自体が宗教教育でもなく、また宗教でもありません。宗教への接点だといえます。

われわれは「日々の善行」という標語をかかげています。これは「一日一善」といわれたこともあります。この「善行」は道徳としては、たしかに美德です。それで小学生、中学生年齢のスカウトにはその段階からすすめますが、高校生以上のスカウトになると、これを宗教心、信仰心からの発動ということにすすめなくてはならなくなります。

学校教育は、制度上、宗教への導きが困難です。それはむしろ家庭での教育にゆだねるべきだといわれますが、スカウト教育は、むしろ積極的にこの方向に推進しています。

それは、奉仕ということを究極の目標にしているからです。

ボーイスカウトの組織

学校教育は、小学校から大学まで、発達段階によって分かれています。スカウト運動でも、心身の発育に応じての目標と、プログラムから、次の4部門に分けられています。

- カブスカウト(小学3年～5年生)
(年少隊)
- ボーイスカウト(小学6年～
(少年隊) 中学3年生)
- シニアスカウト(高校生年齢)
(年長隊)
- ローバースカウト(大学生年齢)
(青年隊)

ボーイスカウトの加盟団は、全国都道府県ごとに県連盟を組織して、活動を推進しています。

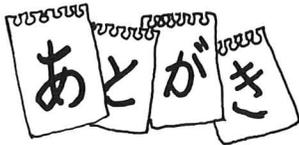
44年度

群馬県連盟顧問・相談役

顧問	中曾根 康弘	理事	上村 英夫	監事	榎原 政治
相談役	小野塚 静二	〃	栗原 博	〃	工藤 友吉
〃	鈴木 武雄	〃	桜井 玉寿	名誉会議員	後藤 竜堂
〃	野口 喜一郎	〃	佐野 金作	〃	高橋 邦一
〃	北条 富司	〃	渋谷 羨夫	〃	星野 宏
〃	小井戸 哲夫	〃	高橋 正信	〃	村沢 信夫
〃	徳永 十四男	〃	立川 弁祐	〃	吉川 亀吉

群馬県連盟役員

先達	星野 宏	〃	野口 潔	副	〃	井出 存祐
連盟長	神田 坤六	〃	原沢 益巳	〃	〃	斉藤 清治
副連盟長	三沢 祐長	〃	平方 敏郎	〃	〃	高頭 和之
〃	佐藤 春重	〃	布施 賢一	事務局長	小野里 和四郎	根岸 努
理事長	勝 実道	〃	古川 清司	会計	〃	神尾 喜美子
副理事長	福田 実	〃	堀口 万亀蔵	事務局員	〃	〃
〃	小野里 和四郎	〃	三浦 幸蔵	〃	〃	〃
理事	岩田 正男	〃	宮沢 一典	〃	〃	〃
〃	奥寺 郁三	〃	茂原 博	〃	〃	〃
〃	小野里 茂作	〃	森田 嘉蔵	〃	〃	〃
		〃	坂木 栄治			



私達日本人には、記録を残しておく事が非常に欠けてをります。いざ物事をまとめようとする時、資料やデータの不足をなげく事がしばしばあると思います。私は今回、つくづく記録の大切さを感じました。

丁度、県連が結成されて10年目の総会の時にも10周年記念誌を作ろうと案が出され、発行する様に話がまとまったが、遂に出版の段階まで行かず、20年迄伸びてしまった。その間、事務局も前橋市萩町小井戸方から豎町糸白子裏、群馬会館、桐生市相生町後藤方、伊勢崎市馬見塚町桜井方、桐生市高砂町吉川方、前橋市千代田町小野里方と転々した為、この際、何んとかまとめておかないと大変な事になると皆心配しておりました。

今年20年誌発行も理事会で承認されましたが、具体的な計画も進まず、切羽詰って私が受けた次第です。資料集め、原稿、編集、校正、製版、印刷、製本、その間わずか50日、20年は約7300日、この長い日を少ない日数でまとめ上げた為、通り一辺の記念誌で、各位の期待に副へなかった事は充分承知をしてをりますが、是非共、これを骨子として、今後の肉付けを切にお願い申し上げます。

編集に当り、資料を提供して下さった方々、群馬会館の物置で、ほこりになって資料の整理に奉仕して下さった同志に対し心からの御礼を申し上げ、むすびの言葉と致します。

昭和44年9月23日秋分の日

桜井玉寿

20年の足跡

ボーイスカウト群馬連盟20周年記念誌

昭和44年10月1日印刷

昭和44年10月12日発行

編集・発行 日本ボーイスカウト群馬連盟

本部 前橋市大手町3丁目13-5群馬県婦人青少年センター内 TEL(31)4560
事務局 前橋市千代田町5丁目17-8小野里和四郎方 TEL(31)6623